

設置支援アプリケーションソフトウェア

型
名 **EM-ZS900**

ユーザーズガイド



私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この説明書は再生紙（古紙100%）を使用しています。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 設定に関する用語や設定方法の詳細は、非常用放送設備インテリジェントPAシステムの「設置説明書（設定・動作確認編）」をご覧ください。

はじめに

もくじ

はじめに

もくじ	3
パソコン動作環境	4
設置支援アプリケーションソフトEM-ZS900とは	5
アプリケーションソフトの構成	

準備

接続	6
インストール手順	7
アンインストール手順	8

EM-ZS900 System Setup (システム設定機能)

EM-ZS900 System Setupを起動する	9
アプリケーション設定画面	10
情報設定画面	11
環境設定画面	12
非常放送動作設定画面	13
業務放送動作設定画面	14
マトリックス出力設定画面	15
デジタルマトリックス設定画面	16
プログラムシートの作成	17
各部の名称と基本操作／放送階選択-回線No.設定／放送階選択-同一階連動階設定／ 業務ブロック-回線No.設定／BGMブロック-回線No.設定／ マルチ業務リモコン-回線No.設定／起動入力-回線No.設定	
プロジェクトのアップロード・ダウンロード	26
アップロード／ダウンロード	
プロジェクトファイルの入出力	27
プロジェクトファイルを開く／プロジェクトファイルを保存する	
印刷	28
プログラムシートを印刷する／システム設定を印刷する／ラベルを印刷する	

EM-ZS900 Log Viewer (履歴確認機能)

EM-ZS900 Log Viewerを起動する	31
アプリケーション設定画面	32
履歴をダウンロードする	33
履歴確認画面	34

EM-ZS900 PC Remote (PC放送リモコン機能)

EM-ZS900 PC Remoteを起動する	35
アプリケーション設定画面	36
EM-ZS900 PC Remote画面	37
回線を選んで放送する (ブロック放送)	39
登録回線すべてに放送する (一斉放送)	40
登録した回線に放送する (メモリー放送)	41
選んだ回線に放送する	42
回線を登録する (メモリー登録)	43
登録する／確認する	
マトリックス状況画面	45
スピーカー状況画面	46
起動入力／制御出力画面	47

EM-ZS900 System Setup の高度な使い方

プログラムシートのエクスポート	48
ラベルのエクスポート	49
プログラムシートのインポート	50

パソコン動作環境

設置支援アプリケーションソフトウェアEM-ZS900は、以下のようなパソコン環境での動作確認を行なっております。動作環境は2004年10月現在のもので、最新の動作環境については最寄りのシステム営業所にお問い合わせください。

接続可能なパソコン

OS :	Windows XP Home Edition(SP1) (日本語) Windows XP Professional(SP1) (日本語)
CPU :	Pentium III 1GHz
メモリ :	256MB
ディスプレイ :	800ドット×600ドット 24ビット フルカラー
HDD :	アプリケーションソフトをインストールするのに50MB以上の空き容量が必要
インターフェース :	RS-232C準拠のシリアルインターフェース



パソコンの仕様は、アプリケーションソフトを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

使用上のご注意

OSへのログインについて	アプリケーションソフト使用時のユーザー権限は、Administratorで行なってください。
アプリケーションの起動について	EM-ZS900 System Setup、EM-ZS900 Log Viewer、EM-ZS900 PC Remote、3種類のアプリケーションソフトは、2種類以上同時に使用することはできません。
アプリケーションのご使用について	設置支援アプリケーションソフトウェアEM-ZS900をインストールしたパソコンでは、パワーセーブ機能・レジューム機能を使用しないでください。通信状態や通信データが不安定になることがあります。（お使いのパソコンによっては名称が異なる場合があります。）

設置支援アプリケーションソフトEM-ZS900とは

アプリケーションソフトの構成

設置支援アプリケーションソフトウェアEM-ZS900は、次の3つのアプリケーションで構成されています。

EM-ZS900 System Setup

(システム設定機能) Ⅱ-9ページ

プログラムシート、および各画面において簡単にプロジェクト（本体の設定をデータファイルにしたもの）の作成ができます。

- ◆プロジェクトを本体に一括でアップロードすることができます。
- ◆プロジェクトをファイルとして保存することができます。（プロジェクトファイル）
- ◆本体の設定をダウンロードして、プロジェクトファイルにすることができます。
- ◆プロジェクト内容の印刷や、EM-900シリーズ各機器のラベルを印刷できます。
- ◆プロジェクトの作成、保存の手段として、プログラムシート（CSVファイル）のインポート、エクスポートをサポートしています。

EM-ZS900 Log Viewer

(履歴確認機能) Ⅱ-31ページ

本体の履歴をダウンロードし、確認することができます。

- ◆本体と通信を行ない、リストに履歴を表示します。
- ◆履歴確認時に、履歴データのソートができます。
- ◆検索条件を設定でき、絞り込み検索ができます。
- ◆履歴をパソコンモニター画面で確認し印刷できます。
- ◆履歴データを保存できます。（CSVファイル形式）
- ◆システム構成情報をダウンロードし、保存することができます。

EM-ZS900 PC Remote

(PC放送リモコン機能) Ⅱ-35ページ

パソコンと本体をつなぐことで、業務放送操作を行なえます。

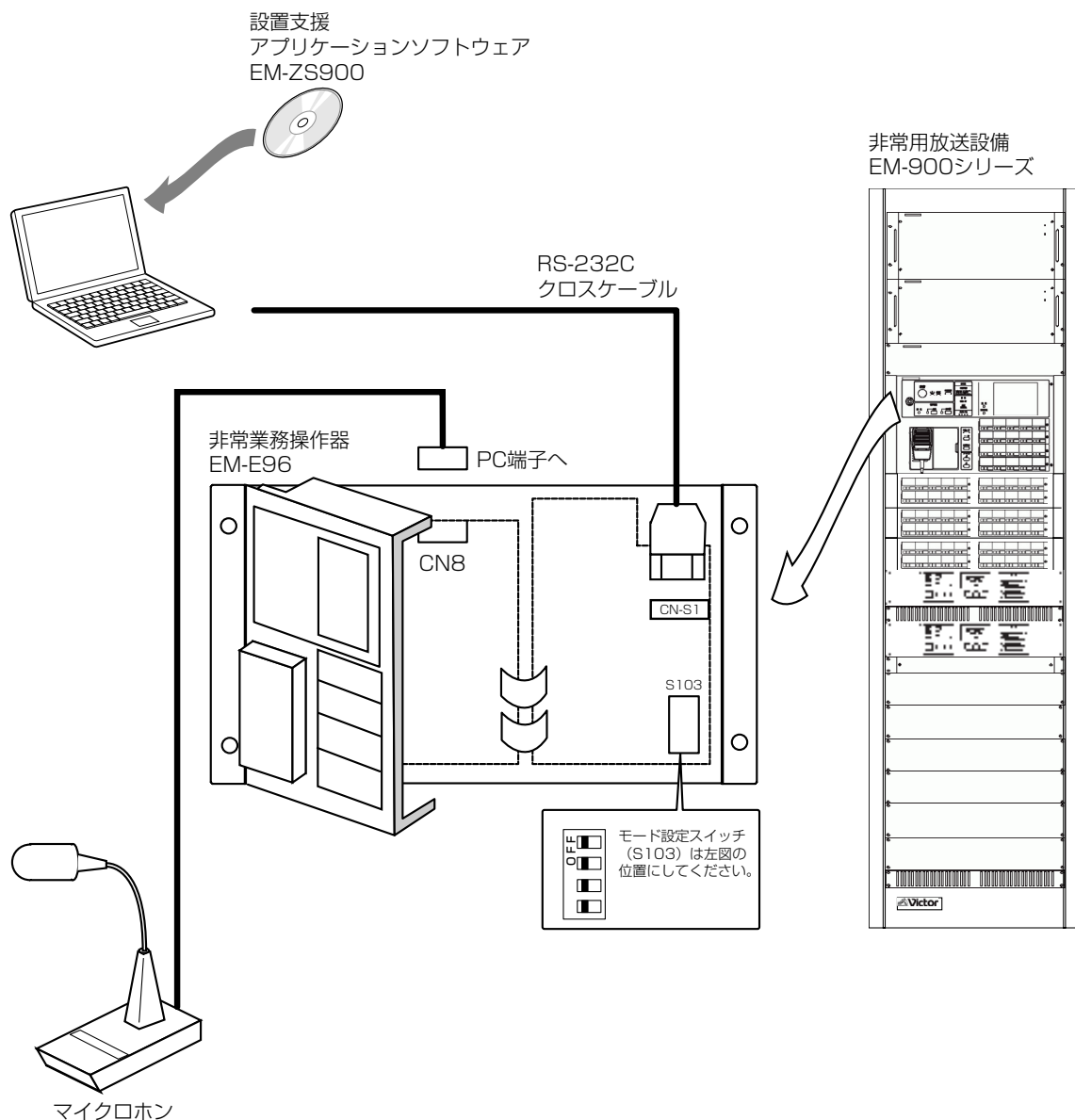
※別途、本体に接続するマイクロホンが必要になります。

また、本体が多元システムのときは、別途チャイム機器が必要になります。

接続

EM-900シリーズは多数のハード機器により構成されていますが、設置支援アプリケーションソフトウェアEM-ZS900は、非常業務操作器EM-E96とだけ通信を行ないます。他のハード機器とは接続できません。

PC放送リモコン機能を使用する場合は、マイクロホンも接続します。35ページ



インストール手順

設置支援アプリケーションソフトウェアEM-ZS900をインストールやアンインストールするときは、Administrator権限を持つユーザーでパソコンにログインします。Administrator 権限やユーザーアカウントの設定については、Windows XP のヘルプを参照してください。

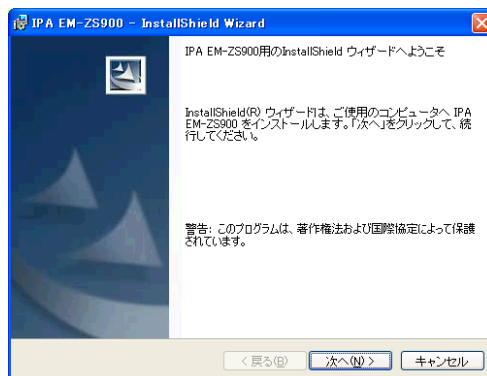


◆操作を始める前に

インストールを開始する前に、ウイルス対策ユーティリティを解除してください。ウイルス対策ユーティリティは、「EM-ZS900」のインストールの妨げとなることがあります。

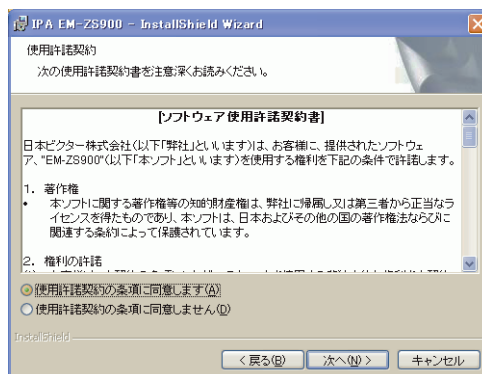
Windows XPおよびアンチウイルスソフトは、パーソナルファイアウォール機能を搭載しているものがあります。この機能が“ON”になっていると正常に動作しないことがあります。この場合は“OFF”に設定してお使いください。

1 インストーラーを起動する



- CD-ROM ドライブにCD-ROMディスク「EM-ZS900」を挿入します。
- EM-ZS900フォルダ内の” Setup.exe” をダブルクリックします。
- [次へ] をクリックしてください。

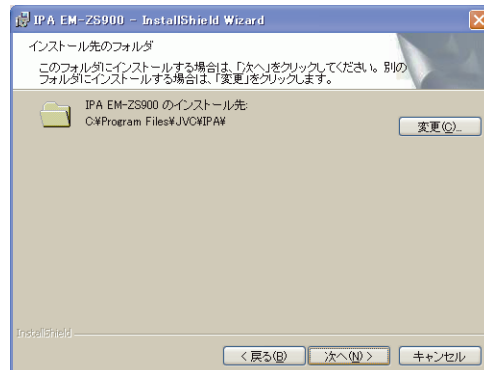
2 “ソフトウェア使用許諾契約書”を確認する



- 同意する場合には、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、「次へ」をクリックします。
- 同意しない場合は、[使用許諾契約の条項に同意しません] を選択し、「キャンセル」をクリックしインストールを中止します。

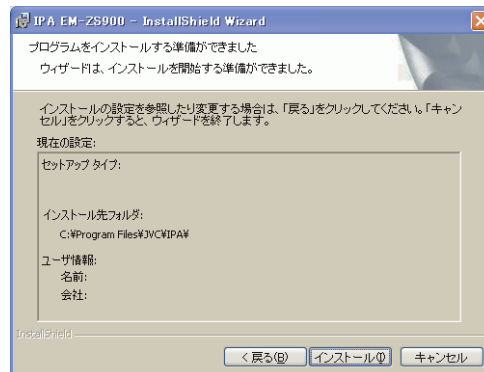
インストール手順 (つづき)

3 インストール先を決める



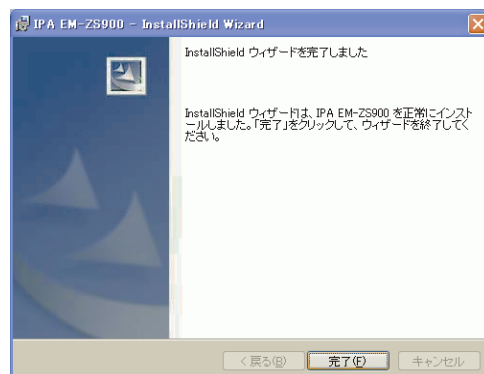
- 画面に表示されたフォルダにインストールする場合は「次へ」をクリックします。
- フォルダを変更する場合は「変更」をクリックし、フォルダを指定します。
- 「次へ」をクリックします。

4 インストールを開始する



- 入力した内容に間違いがない場合は、「インストール」をクリックします。
- 入力した内容を修正する場合は、「戻る」をクリックし設定しなおします。

5 インストールを完了する



- 正常にインストールされると、「ウィザード完了」画面が表示されます。
- 「完了」をクリックし、ウィザードを終了します。

アンインストール手順

アンインストールは次の手順で行なってください。

- 1 Windows のコントロールパネルから、「プログラムの追加と削除」を選択します。
- 2 現在インストールされているプログラムの一覧から、「IPA EM-ZS900」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
- 3 削除を確認するメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

EM-ZS900 System Setup (システム設定機能)

EM-ZS900 System Setupを起動する

EM-ZS900 System Setup、EM-ZS900 Log Viewer、EM-ZS900 PC Remote、3種類のアプリケーションソフトは、2種類以上同時に使用することはできません。

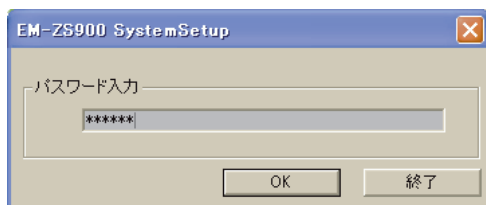
※通常モードで放送が行なわれていない状態のときだけ、ご使用になれます。

1 EM-ZS900 SystemSetupを起動する



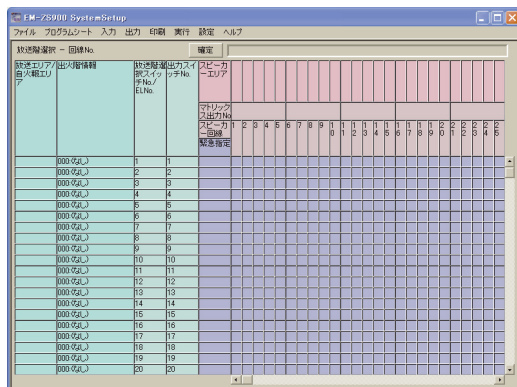
- デスクトップ上の EM-ZS900 SystemSetup アイコンをダブルクリックします。
- パスワード画面が表示されます。

2 パスワードを入力する



- パスワード “jvcipa” を入力します。
- 「OK」 ボタンをクリックします。

3 メイン画面が起動する



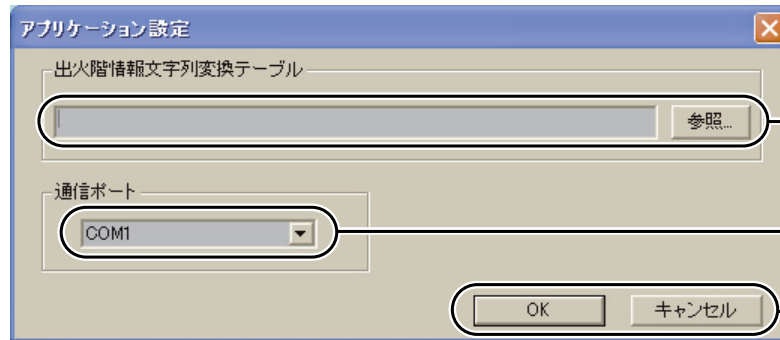
- プロジェクトの新規作成の状態で起動します。



- ・ アプリケーションの実行は、“ユーザー権限 Administrator”で行なってください。Administrator以外の権限で行う場合はアプリケーション設定で設定した内容が保存されない場合があります。
- ・ 設定値とその内容の詳細は、「設置説明書（設定・動作確認編）」をご覧ください。

アプリケーション設定画面

アプリケーション設定画面を表示させるには、メニューの「設定／アプリケーション設定」を選択します。



[参照]ボタンをクリックすると、読み込むファイルを変更できます。

プルダウンで設定値を変更します。

[OK]ボタン
変更した設定を確定し、設定画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、画面を閉じます。

●：初期設定値

項目	設定値	項目
通信ポート	COM1● COM2 COM3 COM4 COM5 COM6 COM7 COM8 COM9	通信ポートを選択します。



出火階情報文字列変換テーブルの変更は通常行わないでください。読み込み後は、メニューの「ファイル／出火階情報表示」で内容を確認してください。読み込めない値の場所には初期設定値が入ります。

情報設定画面

情報設定画面を表示させるには、メニューの「設定／情報設定」を選択します。

プルダウンで設定値を変更します。

[OK]ボタン
変更した設定を確認し、
設定画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、
画面を閉じます。

項目	設定値	項目
名称	全角25文字 (半角英数50文字)	建物などの名称を入力します。
作成日		作成日を選択します。
作成者	全角20文字 (半角英数40文字)	作成者を入力します。
コメント	全角50文字 (半角英数100文字)	コメントを入力します。

環境設定画面

環境設定画面を表示させるには、メニューの「設定／環境設定」を選択します。

プルダウンで設定値を変更します。

[デフォルト]ボタン
設定値を初期設定値に戻します。
[OK]ボタン
変更した設定を確定し、設定画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、画面を閉じます。

●：初期設定値



スイッチ列項目の設定値は、放送階選択、業務ブロック、BGMブロックの合計が64以内になるように設定してください。

項目	設定値	内容
スイッチ列	0～64（半角数字）	設置システムに応じて、スイッチ列を入力します。
放送階選択	64●	
業務ブロック	0●	
BGMブロック	0●	
スピーカー回線数	1～320（半角数字） 30●	出力スピーカー回線数を入力します。
メンテナンス時刻	1：00●	蓄電池点検／サービス用メモリーへの設定データのバックアップ／履歴データの保存の時刻を入力します。時：分で設定します。
マトリックス入出力	マトリックスなし● 8入力8出力(MX52) 8入力16出力(MX52) 16入力8出力(MX52) 16入力16出力(MX52) 20入力10出力(MX92) 20入力20出力(MX92)	マトリックス入出力を選択します。

非常放送動作設定画面

非常放送動作設定画面を表示させるには、メニューの「設定／非常放送動作設定」を選択します。

プルダウンで設定値を変更します。

[デフォルト]ボタン
設定値を初期設定値に戻します。

[OK]ボタン
変更した設定を確認し、設定画面を閉じます。

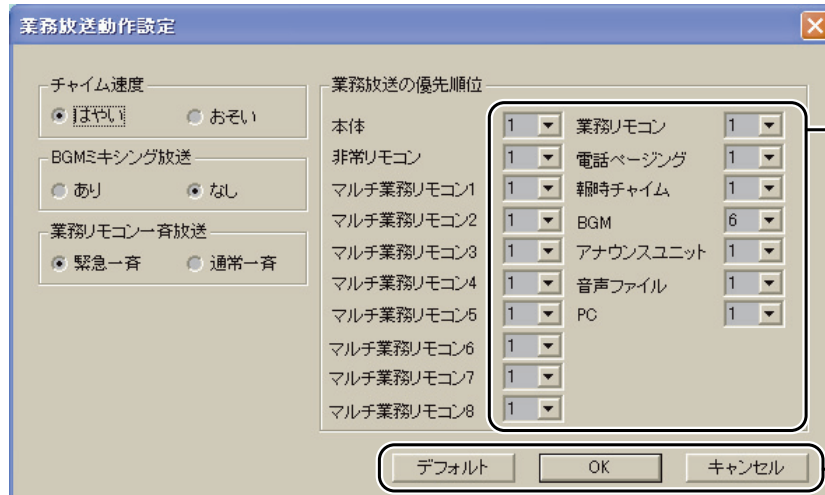
[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、画面を閉じます。

●：初期設定値

項目	設定値	内容
自火報起動時の動作	連動● 連動一斉	自動火災報知設備からの信号によって、出火階と連動階へ非常放送を行う（連動）か、全回線に非常放送を行う（連動一斉）かを選択します。
手動起動時の動作	階別● 連動	非常起動スイッチを押しての非常放送時に、放送階選択スイッチを押して、その階だけに放送を行う（階別）か、その連動階にも放送を行う（連動）かを選択します。
発報連動停止	連動● 発報停止	階別信号のみを受信したとき、発報放送する（連動）か、火災音信号を鳴動させる（発報停止）かを選択します。
発報火災切換	発報● 火災	階別信号と火災確認信号を同時に受信、または手動起動時に発報放送を放送してから火災放送を放送する（発報）か、ただちに火災放送を放送する（火災）を選択します。
火災放送移行時間	2分00秒● 2分00秒 ～39分30秒	火災放送移行タイマーのスタートからタイムアップまでの時間を”分、秒”で設定します。
一斉移行時間	設定しない● 00分00秒 ～39分30秒	一斉移行タイマーのスタートからタイムアップまでの時間を”分、秒”で設定します。時間を設定するときは、”設定する”にチェックします。
発報放送形式	2回● 連続して繰り返し 15秒間隔で繰り返し 30秒間隔で繰り返し	発報放送の繰り返し方法を選択します。
音声警報の言語	日本語● 日本語+英語	音声警報メッセージの言語を選択します。
音声警報のメッセージ音量	大● 中 小	音声警報メッセージの音量を選択します。
音声警報のシグナル音量	大● 中 小	音声警報シグナルの音量を選択します。
音声操作ガイド	あり● なし	非常放送時に操作方法の音声ガイド有無を設定します。
RB制御	一斉● ユニット別	非常放送時のRB制御を一斉かユニットごとかを設定します。

業務放送動作設定画面

業務放送動作設定画面を表示させるには、メニューの「設定／業務放送動作設定」を選択します。



プルダウンで設定値を変更します。

[デフォルト]ボタン
設定値を工場出荷時設定に戻します。

[OK]ボタン
変更した設定を確認し、設定画面を閉じます。

[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、画面を閉じます。

●：初期設定値

項目	設定値	内容
チャイム速度	はやい● おそい	チャイムの速度を設定します。
BGMミキシング放送	あり なし●	BGM放送中に、他の放送の起動がかかった場合にBGM放送をカットする（なし）か、ミキシング状態にする（あり）かを設定します。
業務リモコン一斉放送	緊急一斉● 通常一斉	業務リモコンの一斉放送時に、最大音量で放送する（緊急一斉）か、設定された音量で放送する（通常一斉）かを設定します。
業務放送の優先順位	1～6	業務放送の優先順位を設定します。
本体	1●	同一順位内の放送は後押し優先です。
非常リモコン	1●	
マルチ業務リモコン1	1●	
マルチ業務リモコン2	1●	
マルチ業務リモコン3	1●	
マルチ業務リモコン4	1●	
マルチ業務リモコン5	1●	
マルチ業務リモコン6	1●	
マルチ業務リモコン7	1●	
マルチ業務リモコン8	1●	
業務リモコン	1●	
電話ページング	1●	
報時チャイム	1●	
BGM	6●	
アナウンスユニット	1●	
音声ファイル	1●	
PC	1●	

マトリックス出力設定画面

マトリックス出力設定画面を表示させるには、メニューの「設定／マトリックス出力設定」を選択します。

マトリックス出力

回線No.1～80回線No.81～160回線No.161～240回線No.241～320

回線No. 1～ 5 出力No.	1	回線No. 41～ 45 出力No.	5
回線No. 6～ 10 出力No.	1	回線No. 46～ 50 出力No.	5
回線No. 11～ 15 出力No.	2	回線No. 51～ 55 出力No.	6
回線No. 16～ 20 出力No.	2	回線No. 56～ 60 出力No.	6
回線No. 21～ 25 出力No.	3	回線No. 61～ 65 出力No.	7
回線No. 26～ 30 出力No.	3	回線No. 66～ 70 出力No.	7
回線No. 31～ 35 出力No.	4	回線No. 71～ 75 出力No.	8
回線No. 36～ 40 出力No.	4	回線No. 76～ 80 出力No.	8

デフォルトOKキャンセル

タブをクリックして設定したい回線を選択します。

[デフォルト]ボタン
設定値を初期設定値に戻します。
[OK]ボタン
変更した設定を確認し、設定画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、画面を閉じます。

●：初期設定値

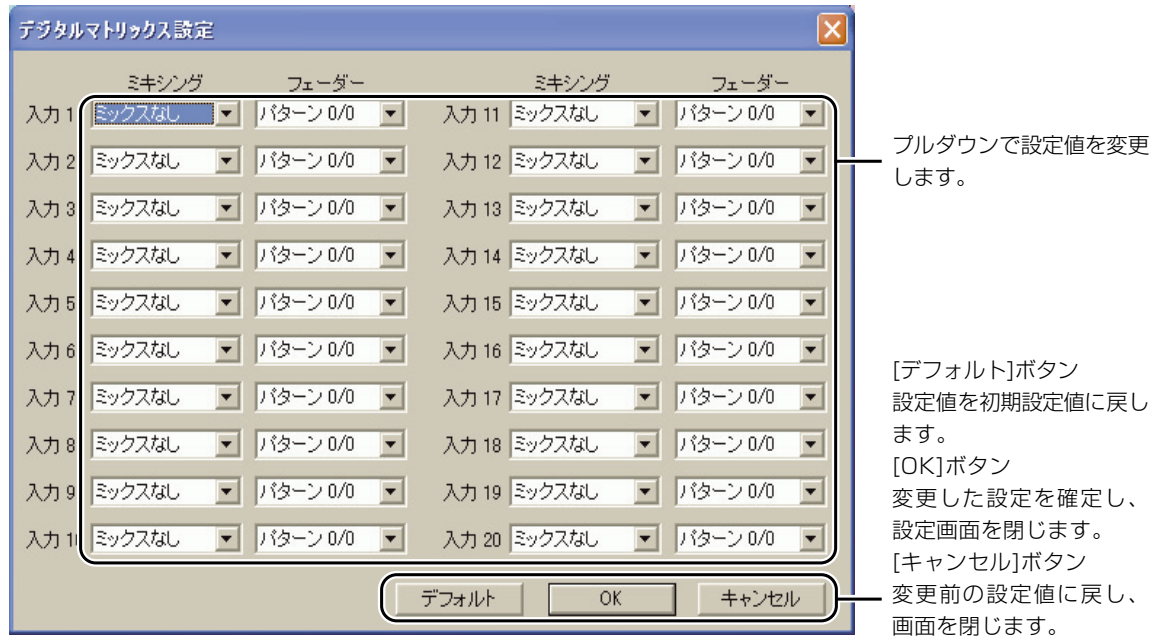
メモ
設定値の上限は、環境設定画面のマトリックス入出力項目により制限されます。
12ページ

項目	設定値	内容
回線No.1～80	1～20 1●	5回線ごとにマトリックス出力を設定します。
回線No.81～160		
回線No.161～240		
回線No.241～320		

メモ
環境設定画面のマトリックス入出力項目を「マトリックスなし」に設定しているときは表示されません。
12ページ

デジタルマトリックス設定画面

デジタルマトリックス画面を表示させるには、メニューの「設定／デジタルマトリックス設定」を選択します。



●：初期設定値

項目	設定値	内容
ミキシング	ミックスなし●	入力ごとに設定します。 その入力を通常レベルで放送しているときに、ミキシングソースとなる側のミキシングレベルを設定します。
	ミックス大	ミックス大：0 dB
	ミックス中	ミックス中：-10dB
	ミックス小	ミックス小：-20dB
フェーダー	パターン 0/0●	入力ごとにフェーダーのパターンを設定します。 ※フェードイン時間（秒） ／フェードアウト時間（秒）
	パターン 1/1	
	パターン 2/2	
	パターン 3/3	
	パターン 3/1	



デジタルマトリックス設定は、環境設定画面のマトリックス入出力項目が有効な（MX92の指定）場合のみ設定可能です。 12ページ

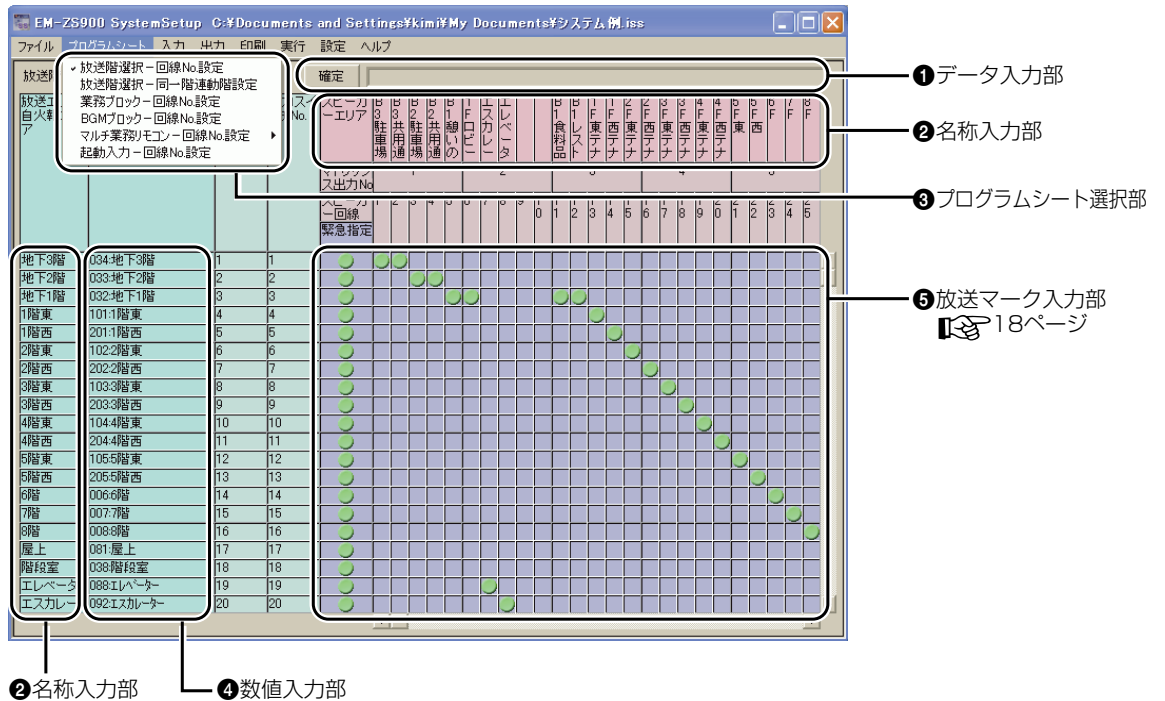
プログラムシートの作成

EM-ZS900 System Setupで作成したプログラムシートは、CSVファイル形式でエクスポートすることができます。また、他のアプリケーションソフトウェアで編集したCSVファイルは、プログラムシートとしてEM-ZS900 System Setupにインポートすることができます。150ページ

プログラムシートは、次の6種類があります。

- ◆放送階選択
 - 回線No.設定
- ◆放送階選択
 - 同一階連動階設定
- ◆業務ブロック
 - 回線No.設定
- ◆BGMブロック
 - 回線No.設定
- ◆マルチ業務リモコン
 - 回線No.設定
- ◆起動入力
 - 回線No.設定

各部の名称と基本操作



①データ入力部

文字や数字を入力し、[確定] ボタンをクリックします。文字や数字の確定は、ENTERキーでもできます。

②名称入力部

文字入力したい場所をダブルクリックで選択します。続いて①データ入力部に文字・数字を入力します。



名称入力部に、表示される文字数は5文字です。

③プログラムシート選択部

設定したいプログラムシートを選択します。

④数値入力部

文字入力したい場所をダブルクリックで選択します。続いて①データ入力部に数字を入力します。

つづく 150ページ

プログラムシートの作成 (つづき)

各部の名称と基本操作

① データ入力部
17ページ

② 名称入力部
17ページ

③ プログラムシート選択部
17ページ

④ 数値入力部
17ページ

⑤ 放送マーク入力部

⑤ 放送マーク入力部

- マークしたいマスにマウスカーソルを合わせクリックします。
- マークにマウスカーソルを合わせクリックすると取り消すことができます。
- 右クリックすると、「行全部設定・列全部設定・行全部クリア・列全部クリア・設定全部クリア」が表れます。

< 放送マーク入力の便利な機能 >

- ・ 選択した行の任意No.にマークしたいとき：
 - ① データ入力部にマークしたいNo.をカンマで区切り入力し、[確定] ボタンをクリックします。
入力例> "1,3,10,310,320"
- ・ 選択した行に連続したNo.にマークしたいとき：
 - ① データ入力部にマークしたい始点No.と終点No.をハイフンでつなぎ入力し、[確定] ボタンをクリックします。
入力例> "1-3,10-310"
- ・ 選択した行すべてのNo.にマークしたいとき：
 - ① データ入力部に次の文字を入力し [確定] ボタンをクリックします。
入力例> "ALL" (半角) または "all" (半角)

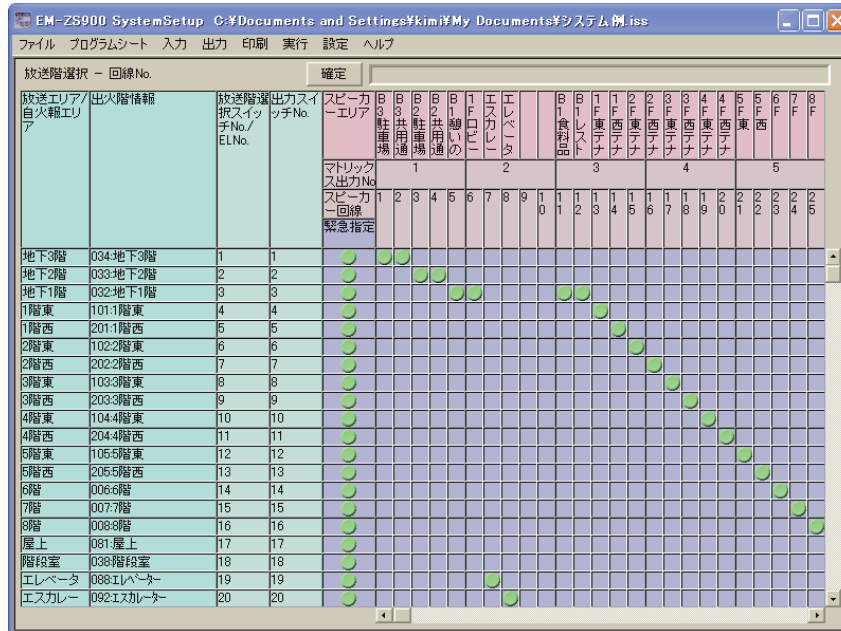


- ・ マウスを使わなくても、マスの選択を矢印キー (↑/↓/←/→) で行ない、スペースキーを押すとマークを付けることができます。
- ・ ctrl+↓キーを押すと、マスの選択箇所が右斜め下へ移動します。
- ・ 日本語入力ソフト (IMEなど) が有効になっているときは、上記の操作ができないことがあります。

プログラムシートの作成 (つづき)

本体の放送階選択スイッチ No.に対して、スイッチの動作設定と放送するスピーカーを設定します。

放送階選択-回線No.設定



項目	設定値	内容
放送エリア ／自火報エリア	全角14文字	放送階選択スイッチNo.／EL No.に対応する名称を入力します。 プログラムシート「放送階選択-同一階連動階設定」の放送エリア設定と共通です。
出火階情報	0～499	放送階選択スイッチNo.／ELNo.に対応する出火階情報の数値を設定します。 メニューの「ファイル／出火階情報パネル表示」で参照できる出火階情報を同時に反映します。 プログラムシート「放送階選択-同一階連動階設定」の出火階情報と共通です。
放送階選択スイッチNo. ／EL No.	設定不可	本体の放送階選択スイッチNo.／ELNo.が表示されます。 スイッチ数の設定は環境設定画面で行なってください。
出力スイッチNo.	設定不可	放送階選択スイッチNo.／ELNo.に対応する出力スイッチNo.が表示されます。
緊急指定		放送階選択スイッチNo.／ELNo.に対応する緊急指定を設定します。設定箇所マークを付けてください。
スピーカーエリア	全角7文字	スピーカーに対応する名称を入力します。 他のプログラムシートのスピーカーエリアと共通です。
マトリックス出力No.	設定不可	スピーカーに対応するマトリックス出力No.を表示します。 設定はマトリックス出力設定画面で行なってください。
スピーカー回線	設定不可	スピーカーに対応する回線番号が表示されます。 他のプログラムシートのスピーカー回線と共通です。
放送マーク		各スイッチに対して放送するスピーカーにマークを設定してください。



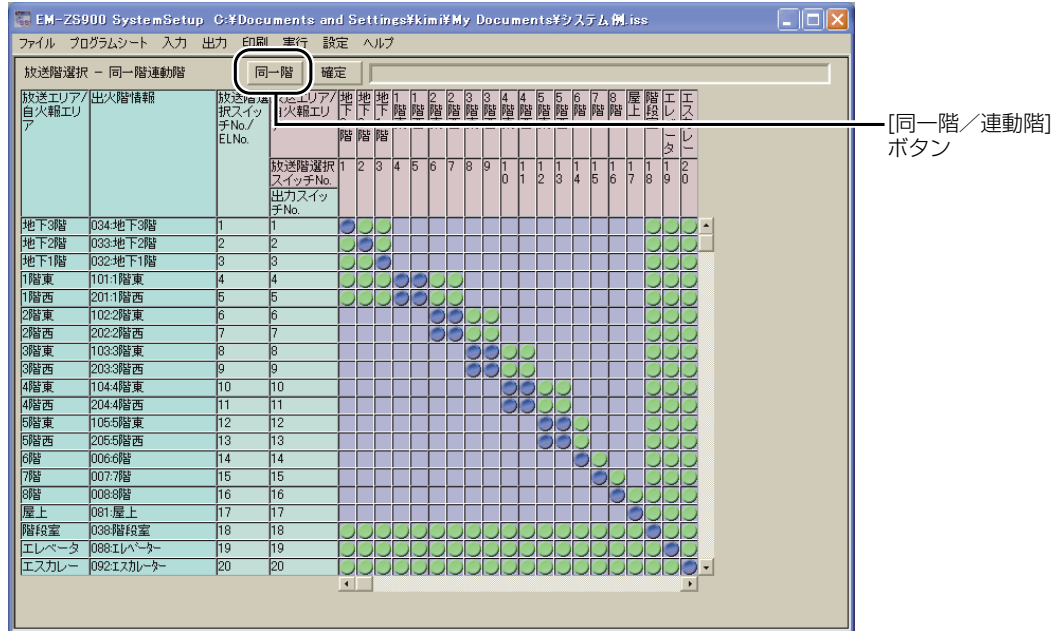
マトリックス出力項目は、マトリックス出力設定画面で回線を設定したときだけ表示されます。

15ページ

プログラムシートの作成 (つづき)

本体の放送階選択スイッチNo.に対して、同一階と連動階の設定を行ないます。スイッチの動作設定は「放送階選択-回線No設定」と同じです。

放送階選択-同一階連動階設定

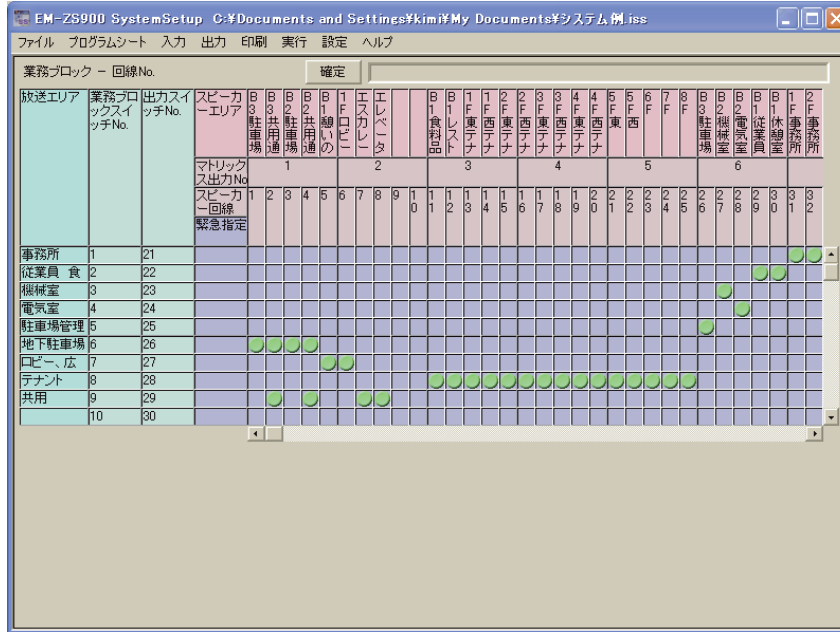


項目	設定値	内容
放送エリア ／自火報エリア	全角14文字	放送階選択スイッチNo.／EL No.に対応する名称を入力します。プログラムシート「放送階選択-回線No.設定」の放送エリア設定と共通です。
出火階情報	0～499	放送階選択スイッチNo.／ELNo.に対応する出火階情報の数値を設定します。 メニューの「ファイル／出火階情報パネル表示」で参照できる出火階情報を同時に反映します。 プログラムシート「放送階選択一回線No.設定」の出火階情報と共通です。
放送階選択スイッチNo. ／EL No.	設定不可	本体の放送階選択スイッチNo. /ELNo.が表示されます。スイッチ数の設定は環境設定画面で行なってください。
出力スイッチNo.	設定不可	放送階選択スイッチNo. /ELNo.に対応する出力スイッチNo. が表示されます。
同一階マーク 連動階マーク		同一階マーク“●”／連動階マーク“○”を設定します。 [同一階／連動階]ボタンを押すごとに、同一階マーク“●”／連動階マーク“○”は切り換わります。

プログラムシートの作成 (つづき)

本体の業務ブロックスイッチNo.に対して、スイッチの動作設定と放送するスピーカーを設定します。

業務ブロック-回線No.設定



項目	設定値	内容
放送エリア	全角14文字	業務ブロックスイッチNo.に対応する名称を入力します。
業務ブロックスイッチNo.	設定不可	本体の業務ブロックスイッチNo.が表示されます。スイッチ数の設定は環境設定画面で行なってください。
出力スイッチNo.	設定不可	業務ブロックスイッチNo.に対応する出力スイッチNo.が表示されます。
緊急指定		業務ブロックスイッチNo.に対応する緊急指定を設定します。設定箇所にマークを付けてください。
スピーカーエリア	全角7文字	スピーカーに対応する名称を入力します。 他のプログラムシートのスピーカーエリアと共通です。
マトリックス出力No.	設定不可	スピーカーに対応するマトリックス出力No.を表示します。 設定はマトリックス出力設定画面で行なってください。
スピーカー回線	設定不可	スピーカーに対応する回線番号が表示されます。 他のプログラムシートのスピーカー回線と共通です。
放送マーク		各スイッチに対して放送するスピーカーにマークを設定してください。



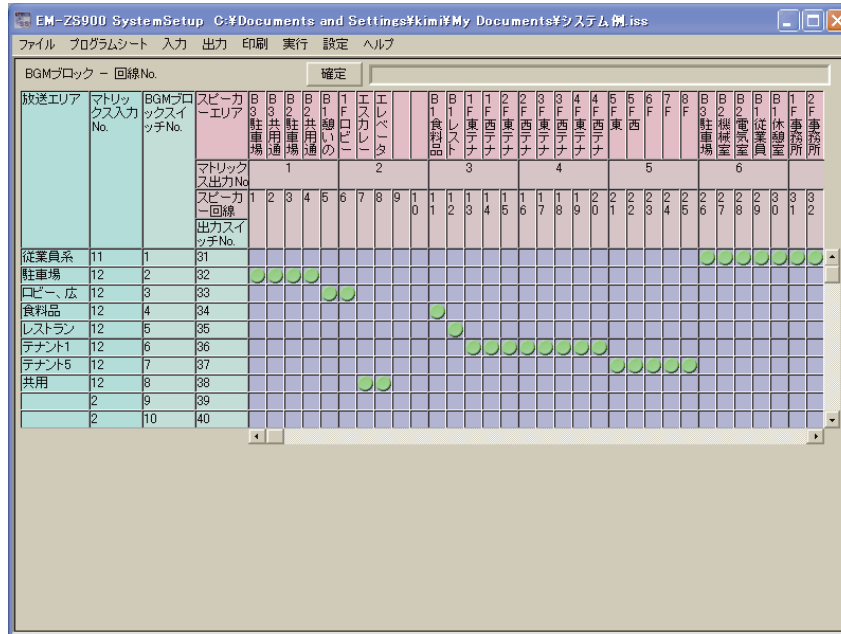
マトリックス出力項目は、マトリックス出力設定画面で回線を設定したときだけ表示されます。

15ページ

プログラムシートの作成 (つづき)

本体のBGMブロックスイッチNo.に対して、スイッチの動作設定と放送するスピーカーを設定します。

BGMブロック-回線No.設定



項目	設定値	内容
放送エリア	全角14文字	BGMブロックスイッチNo.に対応する名称を入力します。 プログラムシート「放送階選択-同一階連動階設定」の放送エリア設定と共通です。
マトリックス入力No.	2～20	BGMブロックスイッチNo.に対応するマトリックス入力No.が表示されます。 環境設定画面でマトリックスの設定をした場合のみ表示されます。
BGMブロックスイッチNo.	設定不可	本体のBGMブロックスイッチNo.が表示されます。 スイッチ数の設定は環境設定画面で行なってください。
出力スイッチNo.	設定不可	BGMブロックスイッチNo.に対応する出力スイッチNo.が表示されます。
スピーカーエリア	全角7文字	スピーカーに対応する名称を入力します。 他のプログラムシートのスピーカーエリアと共通です。
マトリックス出力No.	設定不可	スピーカーに対応するマトリックス出力No.を表示します。 設定は、マトリックス出力画面で行なってください。
スピーカー回線	設定不可	スピーカーに対応する回線番号が表示されます。 他のプログラムシートのスピーカー回線と共通です。
放送マーク		各スイッチに対して放送するスピーカーにマークを設定してください。



マトリックス出力項目は、マトリックス出力設定画面で回線を設定したときだけ表示されます。

15ページ

プログラムシートの作成 (つづき)

マルチ業務リモコンのブロックスイッチNo.に対して、スイッチの動作設定と放送するスピーカーを設定します。マルチ業務リモコン（最大8台接続）、PC放送リモコン、それぞれに対して設定を行います。

マルチ業務リモコン-回線No.設定

項目	設定値	内容
放送エリア	全角14文字	ブロックスイッチNo.に対応する名称を入力します。
マトリックス入力No.	2～20	ブロックスイッチNo.に対応するマトリックス入力No.が表示されます。 環境設定画面でマトリックスの設定をした場合のみ表示されます。
ブロックスイッチNo.	設定不可	マルチ業務リモコンのブロックスイッチNo.が表示されます。
緊急指定		ブロックスイッチNo.に対応する緊急指定を設定します。 設定箇所マークを付けてください。
スピーカーエリア	全角7文字	スピーカーに対応する名称を入力します。 他のプログラムシートのスピーカーエリアと共通です。
マトリックス出力No.	設定不可	スピーカーに対応するマトリックス出力No.を表示します。設定は、マトリックス出力画面で行なってください。
スピーカー回線	設定不可	スピーカーに対応する回線番号が表示されます。 他のプログラムシートのスピーカー回線と共通です。
放送マーク		各スイッチに対して放送するスピーカーにマークを設定してください。



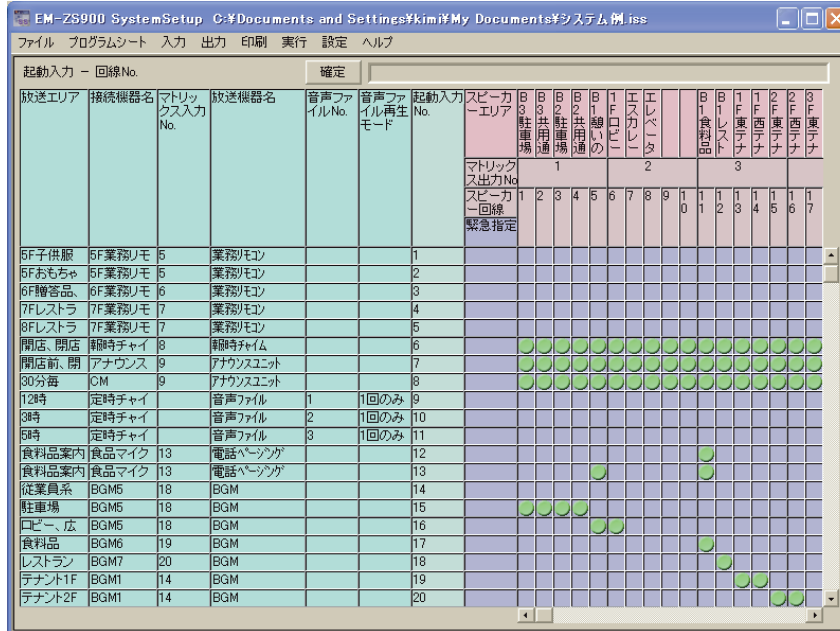
マトリックス出力項目は、マトリックス出力設定画面で回線を設定したときだけ表示されます。

15ページ

プログラムシートの作成 (つづき)

本体の起動入力No. に対して、動作設定と放送するスピーカーを設定します。

起動入力-回線No.設定



●：初期設定値

項目	設定値	内容
放送エリア	全角14文字	起動入力No.に対応する名称を入力します。
接続機器名	全角14文字	起動入力No.に対応する接続機器名称を入力します。
マトリックス入力No.	2～20	起動入力No.に対応するマトリックス入力No.が表示されます。環境設定画面でマトリックスの設定をした場合のみ表示されます。
起動チャイム		起動入力No.に対応する起動チャイムが表示されます。マークを設定してください。 環境設定画面でマトリックスの設定をしない場合のみ表示、設定が可能です。 放送機器名で“音声ファイル”を設定した場合は表示、設定できません。
放送機器名	業務リモコン● 報時チャイム アナウンスユニット 音声ファイル 電話ページング BGM	起動入力No.に対応する放送機器名称を入力します。データ入力部のプルダウンで選び、[確定]ボタンを押します。
音声ファイルNo.	1～45	起動入力No.に対応する音声ファイルNo.を設定します。放送機器名で音声ファイルの設定をした場合のみ表示と設定が可能です。

つづく

プログラムシートの作成 (つづき)

起動入力-回線No.設定

●：初期設定値

項目	設定値	内容
音声ファイル再生モード	繰り返し● 1回のみ	起動入力No.に対応する音声ファイル再生モードになります。放送機器名で音声ファイルの設定をした場合のみ表示と設定が可能です。データ入力部のプルダウンで選び、[確定]ボタンを押します。
起動入力No.	設定不可	本体の起動入力No.が表示されます。
緊急指定		起動入力No.に対応する緊急指定を設定します。設定箇所マークを付けてください。
スピーカーエリア	全角7文字	スピーカーに対応する名称を入力します。 他のプログラムシートのスピーカーエリアと共通です。
マトリックス出力No.	設定不可	スピーカーに対応するマトリックス出力No.を表示します。設定は、マトリックス出力画面で行なってください。
スピーカー回線	設定不可	スピーカーに対応する回線番号が表示されます。 他のプログラムシートのスピーカー回線と共通です。
放送マーク		各スイッチに対して放送するスピーカーにマークを設定してください。



マトリックス出力項目は、マトリックス出力設定画面で回線を設定したときだけ表示されます。

15ページ

プロジェクトのアップロード・ダウンロード

アップロード

EM-ZS900で作成したプロジェクトファイルを本体へアップロードするには、メニューの「実行／E96へ設定」を選択します。アップロードには約1分かかります。



アップロードの途中で通信エラーが出た場合は、本体へ設定は反映されません。

ダウンロード

本体の設定をEM-ZS900のプロジェクトファイルへダウンロードするには、メニューの「入力／E96から読み込み」を選択します。ダウンロードには約1分かかります

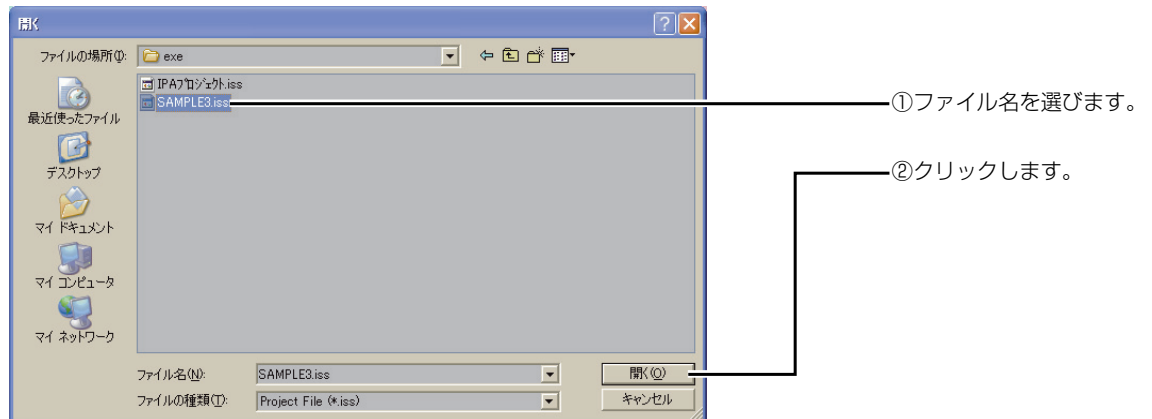


本体の設定をダウンロードした後は、環境設定のスピーカー回線数項目を、システムの回線数に変更してください。📖 12ページ

プロジェクトファイルの入出力

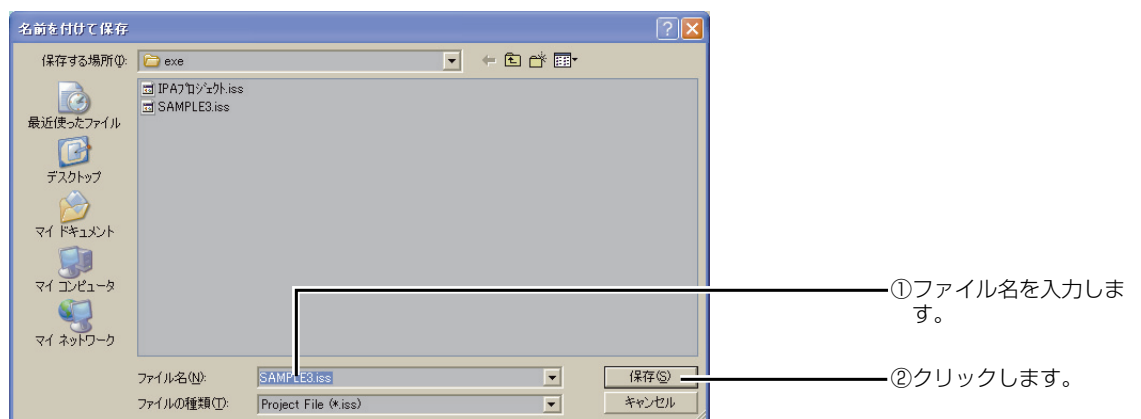
プロジェクトファイルを開く

EM-ZS900で作成したプロジェクトファイルを開くには、メニューの「ファイル／開く」を選択します。



プロジェクトファイルを保存する

EM-ZS900で作成したプロジェクトファイルを保存するには、メニューの「ファイル／名前をつけて保存」を選択するか、メニューの「ファイル／上書き保存」を選択します。



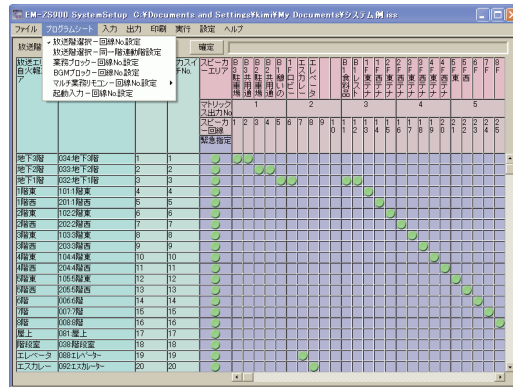
印刷

プログラムシートを印刷する



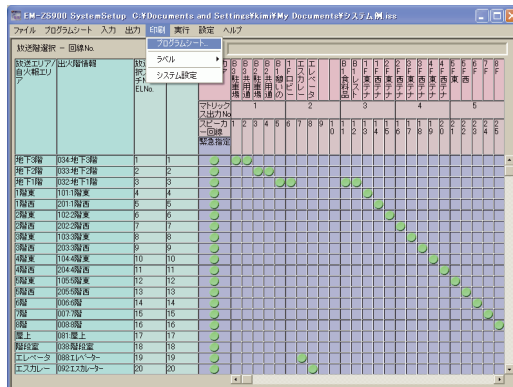
- ・用紙サイズと印刷方向は、設定を変えないでください。設定を変えると正しく印刷されません。
- ・ご使用になるプリンタードライバーによっては、印刷精度に差が出る場合があります。
- ・ページ数の多い画面を印刷しようとする、プリンターの状態によっては文字が正しく印刷されない場合があります。
- ・本機能を使って作成したPDFファイルは、表示精度が低くなる場合があります。

1 プログラムシートを選択する



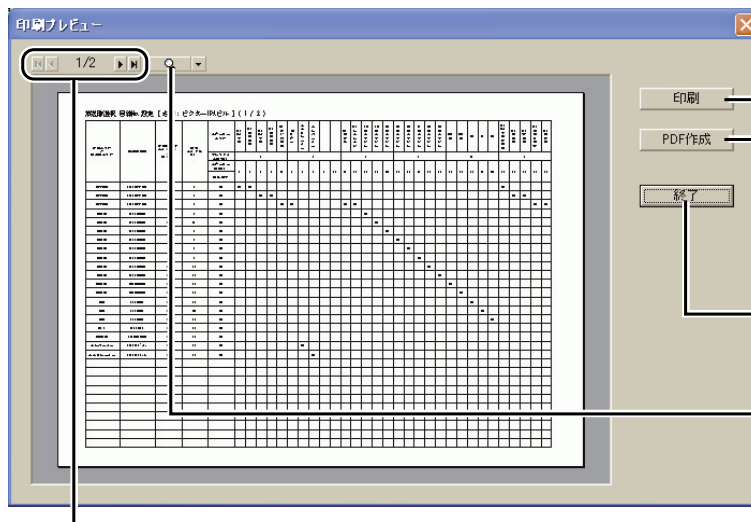
- メニューの「プログラムシート」を選んで、印刷したいプログラムシートを選びます。

2 印刷プレビュー画面を開く



- メニューの「印刷／プログラムシート」を選びます。
- ※回線設定数が多いときや、スイッチ数が多いときは、印刷プレビュー画面が表示されるまでに約30秒かかります。

3 印刷する



[印刷]ボタン
クリックすると表示されて
いる内容が印刷されます。

[PDF作成]ボタン
クリックすると表示されて
いる内容のPDFファイル
を作成します。

[終了]ボタン
印刷プレビュー画面を終了
します。

拡大／縮小ボタン
クリックすると画面表示サ
イズを変えられます。

ページ切り換えボタン
クリックすると印刷プレ
ビュー画面の表示ページ
を変えられます。

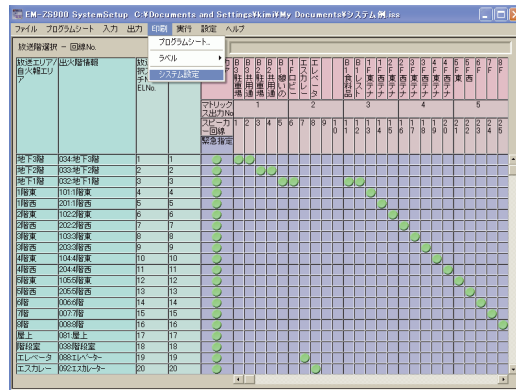
印刷 (つづき)

システム設定を印刷する



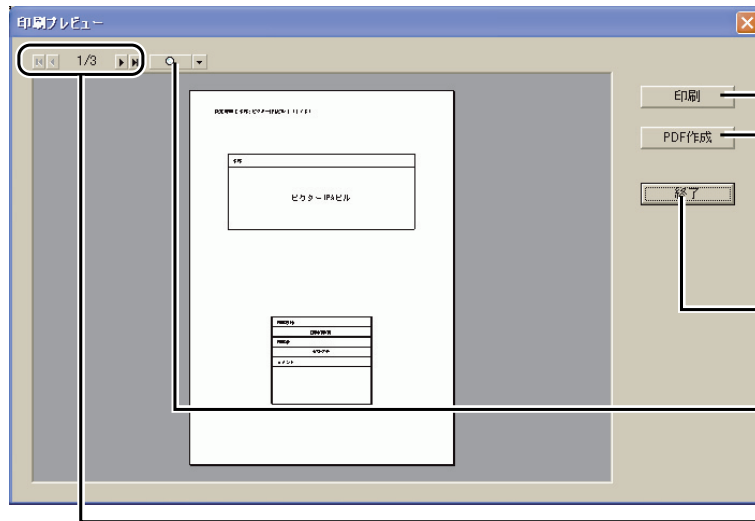
- ・用紙サイズと印刷方向は、設定を変えないでください。設定を変えると正しく印刷されません。
- ・ご使用になるプリンタードライバーによっては、印刷精度に差が出る場合があります。
- ・ページ数の多い画面を印刷しようとする、プリンターの状態によっては文字が正しく印刷されない場合があります。
- ・本機能を使って作成したPDFファイルは、表示精度が低くなる場合があります。

1 印刷プレビュー画面を開く



- メニューの「印刷／システム設定」を選びます。

2 印刷する



[印刷]ボタン
クリックすると表示されている内容が印刷されます。

[PDF作成]ボタン
クリックすると表示されている内容のPDFファイルを作成します。

[終了]ボタン
印刷プレビュー画面を終了します。

拡大／縮小ボタン
クリックすると画面表示サイズを変えられます。

ページ切り換えボタン
クリックすると印刷プレビュー画面の表示ページを変えられます。

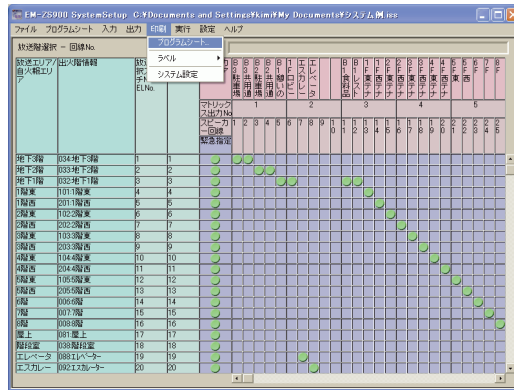
印刷 (つづき)

ラベルを印刷する



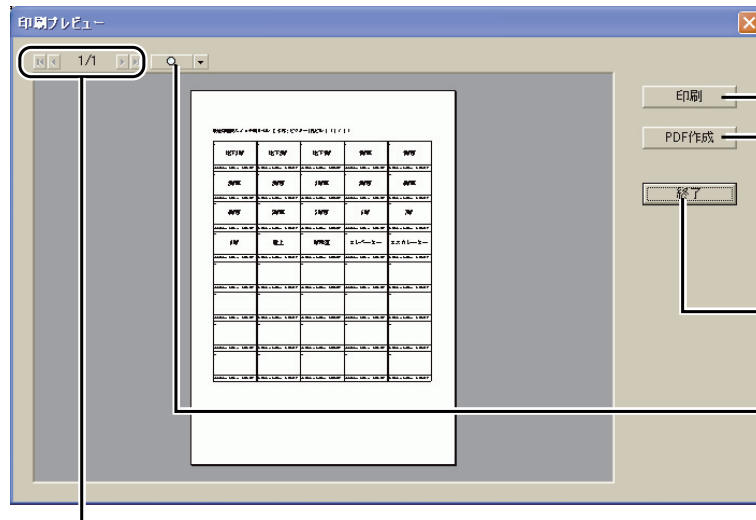
- ・用紙サイズと印刷方向は、設定を変えないでください。設定を変えると正しく印刷されません。
- ・ご使用になるプリンタードライバーによっては、印刷精度に差が出る場合があります。
- ・ページ数の多い画面を印刷しようとする、プリンターの状態によっては文字が正しく印刷されない場合があります。
- ・本機能を使って作成したPDFファイルは、表示精度が低くなる場合があります。

1 印刷プレビュー画面を開く



- メニューの「印刷／ラベル」を選びます。

2 印刷する



[印刷]ボタン
クリックすると表示されている内容が印刷されます。

[PDF作成]ボタン
クリックすると表示されている内容のPDFファイルを作成します。

[終了]ボタン
印刷プレビュー画面を終了します。

拡大／縮小ボタン
クリックすると画面表示サイズを変えられます。

ページ切り換えボタン
クリックすると印刷プレビュー画面の表示ページを変えられます。

印刷可能なラベルの種類

メニュー	対象機種	用途
放送階選択スイッチ	EM-E96/EM-C96/ EM-E12	放送階選択スイッチNo./EL No.の放送エリアが印刷されます。
業務ブロックスイッチ	EM-E96/EM-C96/ EM-E12	業務ブロックスイッチNo.の放送エリアが印刷されます。
BGMブロックスイッチ	EM-E96/EM-C96/ EM-E12	BGMスイッチNo.の放送エリアが印刷されます。
マルチ業務リモコン	PA-C620	マルチ業務リモコンのブロックスイッチNo.の放送エリア、およびスピーカーエリアが印刷されます。
スピーカー回線／ EL接続先	EM-L92	スピーカーエリア／自火報エリアが印刷されます。
起動入力接続先	EM-Y92	起動入力No.の放送機器、接続機器、放送エリアが印刷されます。

EM-ZS900 Log Viewer (履歴確認機能)

EM-ZS900 Log Viewerを起動する

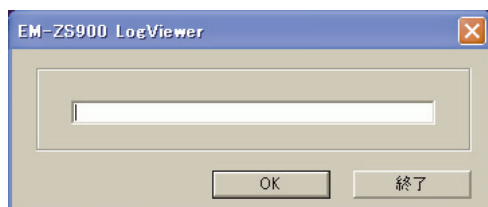
EM-ZS900 System Setup、EM-ZS900 Log Viewer、EM-ZS900 PC Remote、3種類のアプリケーションソフトは、2種類以上同時に使用することはできません。また、本体がシステム設定中の場合は、ダウンロードできない場合があります。

1 EM-ZS900 Log Viewerを起動する



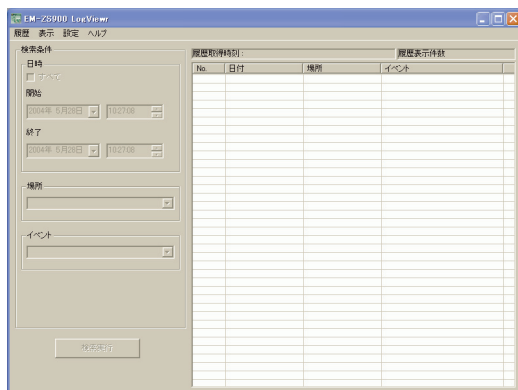
- デスクトップ上の EM-ZS900 Log Viewerアイコンをダブルクリックします。
- パスワード画面が表示されます。

2 パスワードを入力する



- パスワード "jvcipa" を入力します。
- [OK] ボタンをクリックします。

3 履歴確認画面が起動する



- 履歴確認画面が起動します。

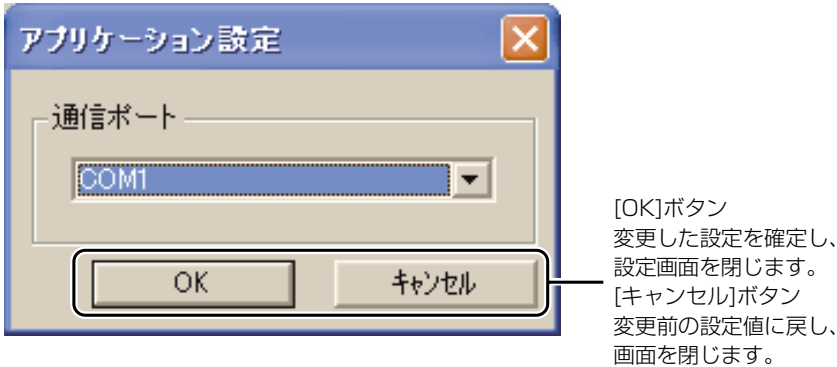
<履歴確認画面>



アプリケーションの実行は、“ユーザー権限 Administrator”で行なってください。Administrator以外の権限で行う場合はアプリケーション設定で設定した内容が保存されない場合があります。

アプリケーション設定画面

アプリケーション設定画面を表示させるには、メニューの「設定／アプリケーション設定」を選択します。

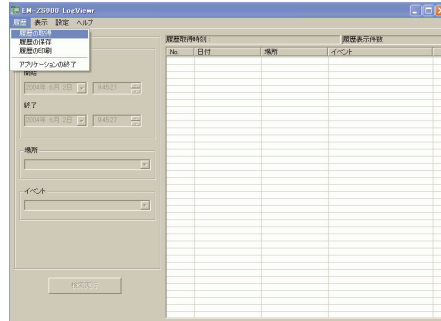


●：初期設定値

項目	設定値	項目
通信ポート	COM1● COM2 COM3 COM4 COM5 COM6 COM7 COM8 COM9	通信ポートを選択します。

履歴をダウンロードする

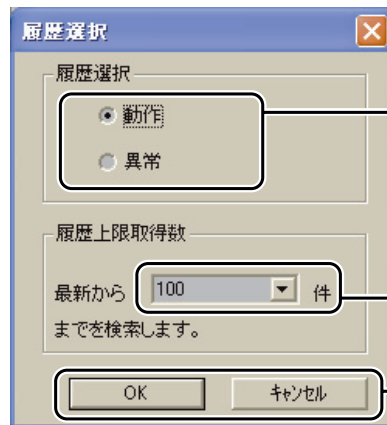
1 履歴選択画面を開く



<履歴確認画面>

- 履歴確認画面メニューの、「履歴／履歴の取得」を選択します。

2 ダウンロード条件を選ぶ



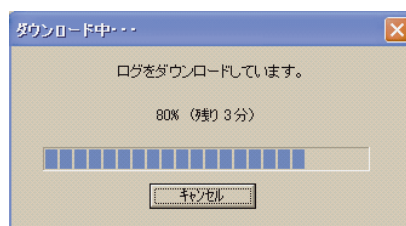
<履歴選択画面>

- ①ダウンロードするデータの種類を選択します。
[動作]: EM-900 シリーズの動作履歴をダウンロードします。
[異常]: EM-900 シリーズの異常履歴をダウンロードします。
- ②ダウンロードする件数を選択します。
- ③[OK]をクリックするとダウンロードが始まります。



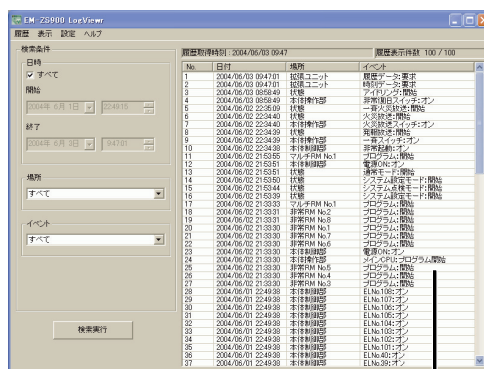
ダウンロード中に[キャンセル]ボタンをクリックしたときは、ダウンロードできた分だけの履歴が表示されます。

3 ダウンロードの開始



<ダウンロード実行中画面>

- ダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが始まります。
- ダウンロードが終了すると、履歴確認画面の履歴リストに履歴が表示されます。

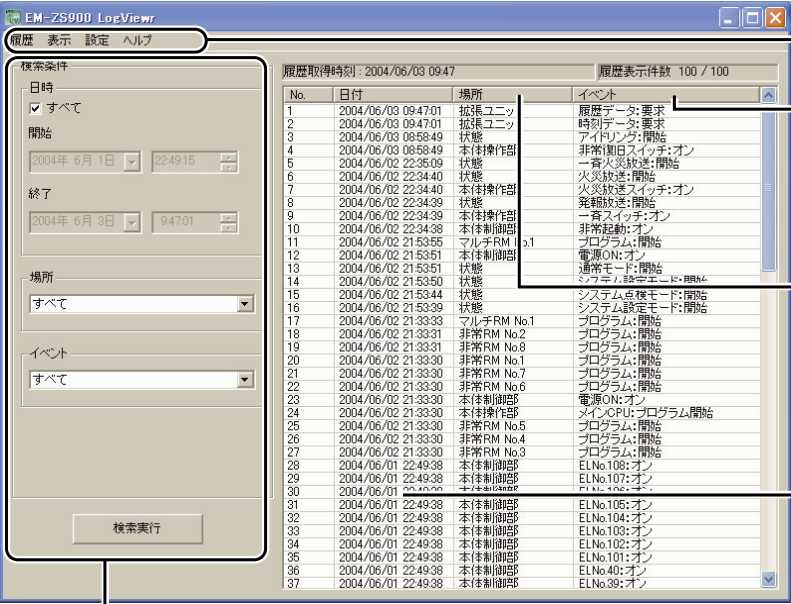


<履歴確認画面>

履歴リスト

履歴確認画面

履歴確認画面では、履歴の表示や絞り込み検索、印刷、履歴の保存ができます。



メニュー



履歴取得件数
右側の数字は取得した全件数、左側の件数は絞り込み検索を行なった結果の履歴数です。


履歴取得時刻
本体の履歴取得時刻を表示します。パソコンの時刻とは一致しない場合があります。

履歴リスト表示部
年／月／日、時刻、場所、イベントが表示されます。ヘッダをクリックすると、昇順／降順でソートができます。

検索条件設定部
履歴リストの表示データを絞り込んで検索ができます。
検索条件を指定し、[検索実行]ボタンをクリックします。

メニュー機能

メニュー名	機能
履歴	
履歴の取得	履歴選択画面が表示され、履歴のダウンロードを実施します。  33ページ
履歴の保存	表示されている履歴を、CSV形式のファイルで保存します。
履歴の印刷	表示されている履歴を印刷します。
アプリケーションの終了	EM-ZS900 Log Viewerを終了します。
表示	
システム構成	システムの構成を表示します。表示されるまでには、15秒程かかります。CSV形式のファイル保存ができます。
設定	
アプリケーション設定	アプリケーション設定画面が表示され、通信ポートを設定できます。  32ページ
ヘルプ	
バージョン情報	EM-ZS900 Log Viewerのバージョンが表示されます。

 履歴のダウンロード中にも本体は履歴を追加しています。この場合、ダウンロード後の履歴表示と、本体の履歴表示と一致しない場合があります。

EM-ZS900 PC Remote (PC放送リモコン機能)

EM-ZS900 PC Remoteを起動する

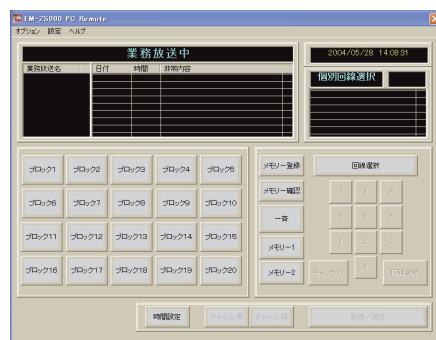
EM-ZS900 System Setup、EM-ZS900 Log Viewer、EM-ZS900 PC Remote、3種類のアプリケーションソフトは、2種類以上同時に使用することはできません。

1 EM-ZS900 PC Remoteを起動する



- デスクトップ上の EM-ZS900 PC Remoteアイコンをダブルクリックします。

2 PC Remote (PC放送リモコン機能) が起動する



<PC Remote (PC放送リモコン) 画面>

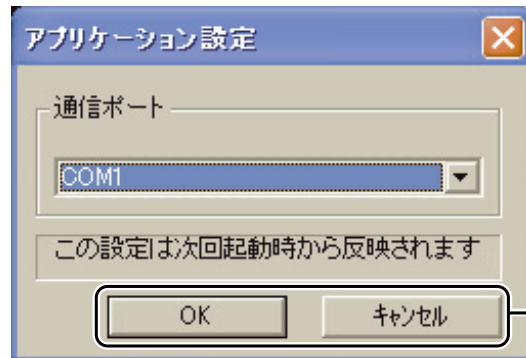
- PC Remote画面が表示されます。



アプリケーションの実行は、“ユーザー権限 Administrator”で行なってください。Administrator以外の権限で行う場合はアプリケーション設定で設定した内容が保存されない場合があります。

アプリケーション設定画面

アプリケーション設定画面を表示させるには、メニューの「設定／アプリケーション設定」を選択します。



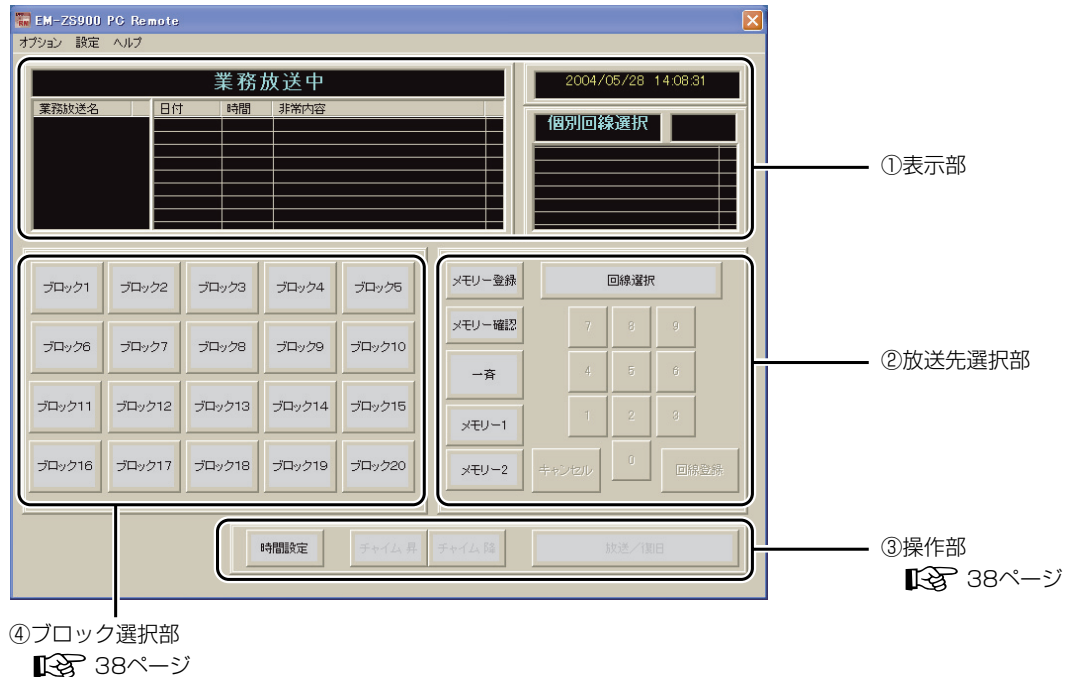
[OK]ボタン
変更した設定を確定し、
設定画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン
変更前の設定値に戻し、
画面を閉じます。

●：初期設定値

項目	設定値	項目
通信ポート	COM1●	通信ポートを選択します。
	COM2	
	COM3	
	COM4	
	COM5	
	COM6	
	COM7	
	COM8	
	COM9	

EM-ZS900 PC Remote画面

アプリケーションソフトウェアEM-ZS900 PC Remoteを使用すると、パソコンで業務放送操作が行なえます。



④ブロック選択部
38ページ

①表示部



- a : 放送状態が表示されます。
- b : 放送中の業務放送名が表示されます。
- c : 非常放送時の非常履歴が表示されます。
- d : パソコンから取得した時刻が表示されます。
- e : 個別回線選択／メモリー回線選択の表示が切り換わります。
- f : 回線番号が表示されます。
- g : 回線登録ボタンをクリックすると回線番号が表示されます。

②放送先選択部

【メモリー登録】ボタン

：放送するスピーカー回線をメモリー(1,2)ボタンに登録をするときに使います。

【メモリー確認】ボタン

：登録した回線を確認するときに使います。

【一斉】ボタン

：一斉放送をするとき、このボタンをクリックします。

【メモリー(1,2)】ボタン

- ：このボタンには、次のとおりがあります。
- あらかじめ登録してある回線に放送するときに、このボタンをクリックします。
- 本機に回線を登録するときに、このボタンをクリックします。
- 本機に登録してある回線を確認するときに、このボタンをクリックします。

【回線選択】ボタン

：放送する回線を個別に選ぶときにこのボタンをクリックします。

【数字キー】ボタン

：このボタンをクリックして放送先を選びます。

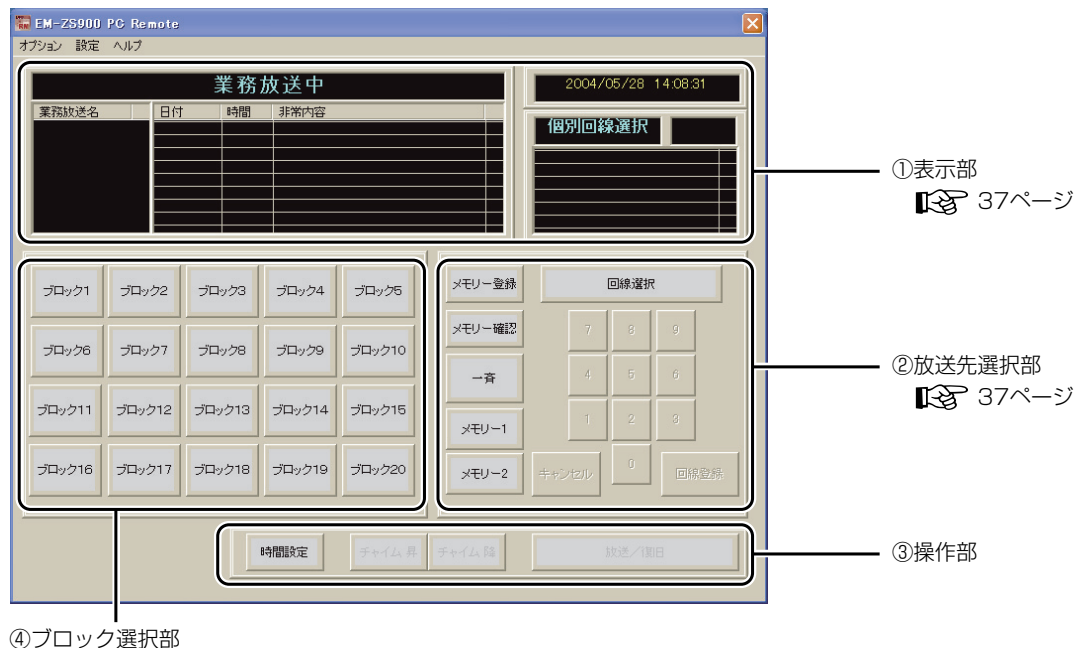
【キャンセル】ボタン

：選択した回線をキャンセルするときに使います。

【回線登録】ボタン

：放送するスピーカー回線を登録するときに使います。

EM-ZS900 PC Remote画面 (つづき)



④ブロック選択部

③操作部

【放送／復旧】 ボタン

：放送を始めるときに、このボタンを押します。また、放送が可能な状態になると、ボタンが点灯します。放送を終えるときには、ボタンをもう一度押します。ボタンが点滅しているときは、優先順位の高い機器から放送がされている状態です。

【チャイム昇】 ボタン

：このスイッチを押すと、ド→ミ→ソ→ドと音階が上がっていくチャイムが放送されます。放送を始めるときなどに利用します。本体が多元放送のときは、操作してもチャイムは放送されません。

【チャイム降】 ボタン

：このボタンを押すと、ド→ソ→ミ→ドと音階が下がっていくチャイムが放送されます。放送を終えるときなどに利用します。本体が多元放送のときは、操作してもチャイムは放送されません。

【時間設定】 ボタン

：このボタンを押すと、本体の時刻を表示部 d と同時刻に設定します。

④ブロック選択部

このボタンを押して放送先を選びます。ボタンに名前をつけるときは次のファイルを書き換えてください。

ファイル格納場所：

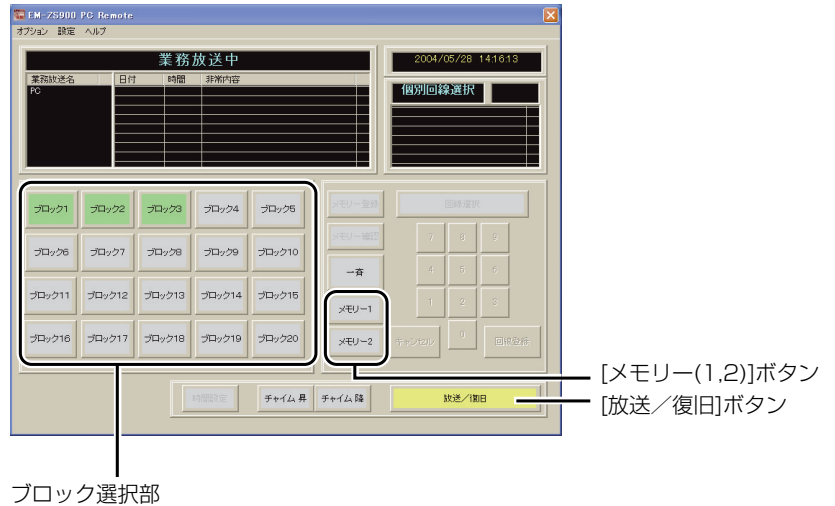
C:\¥Program Files¥JVC¥IPA¥BlockButtonName.csv
(初期設定のままインストール時)

✕ ニュー機能

メニュー名	機能
オプション	
マトリックス状況	マトリックス状況画面が表示されます。 37ページ
スピーカー状況	スピーカー状況画面が表示されます。 37ページ
起動入力／制御出力	起動入力／制御出力画面が表示されます。 37ページ
アプリケーションの終了	EM-ZS900 PC Remoteを終了します。
設定	
アプリケーション設定	アプリケーション設定画面が表示され、通信ポートを設定できます。
ヘルプ	
バージョン情報	EM-ZS900 PC Remoteのバージョンが表示されます。

回線を選んで放送する（ブロック放送）

ブロック放送は、本体放送設備で、あらかじめ設定されている回線を選んで放送する方法です。



1 ブロック選択部ボタンをクリックする

- 放送したい回線のブロック選択ボタンを選びます。
- ブロック選択ボタンは、複数個選ぶことができます。
- 選んだボタンが点灯します。



放送／復旧ボタンが点滅しているときは放送できません。

2 放送／復旧ボタンをクリックする

- 放送／復旧ボタンが点滅から点灯へと変わります。



- ・ブロック選択部ボタン、メモリー(1,2)ボタンをクリックすると、放送中に放送先の回線を追加／削除できます。
- ・ブロック選択部ボタンをクリックして、放送先の回線すべてを削除すると放送／復旧ボタンが消灯し、放送を終了します。

3 本体に接続されたマイクに向かって話す

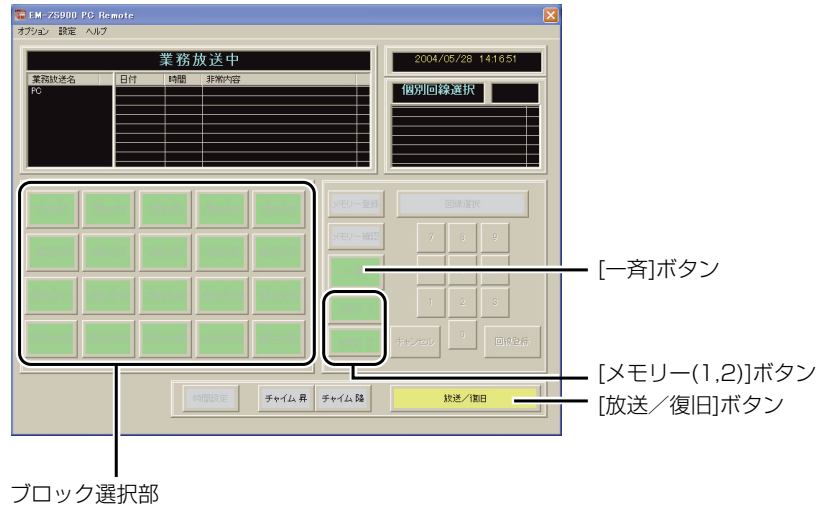
- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイム昇ボタン・チャイム降ボタンをクリックします。

4 放送／復旧ボタンをクリックする

- 放送／復旧ボタンが消灯し、放送を終了します。

登録回線すべてに放送する（一斉放送）

一斉放送は、ブロックボタン、メモリー（1,2）ボタンに、あらかじめ設定されている回線すべてに放送する方法です。



1 一斉ボタンをクリックする

- 一斉ボタンが点灯します。
- メモリー(1,2)ボタンが点灯します。
 - ・回線が登録されていないときは点灯しません。
- ブロック選択部ボタンすべてが点灯します。
 - ・回線が設定されていないブロック選択ボタンは点灯しません。



放送/復旧ボタンが点滅しているときは放送できません。

2 放送/復旧ボタンをクリックする

- 放送/復旧ボタンが点滅から点灯へと変わります。



一斉放送中は、ブロック選択部ボタン、メモリー(1,2)ボタン、一斉ボタンをクリックしても、放送先の回線を減らすことはできません。

3 本体に接続されたマイクに向かって話す


- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイム昇ボタン・チャイム降ボタンをクリックします。

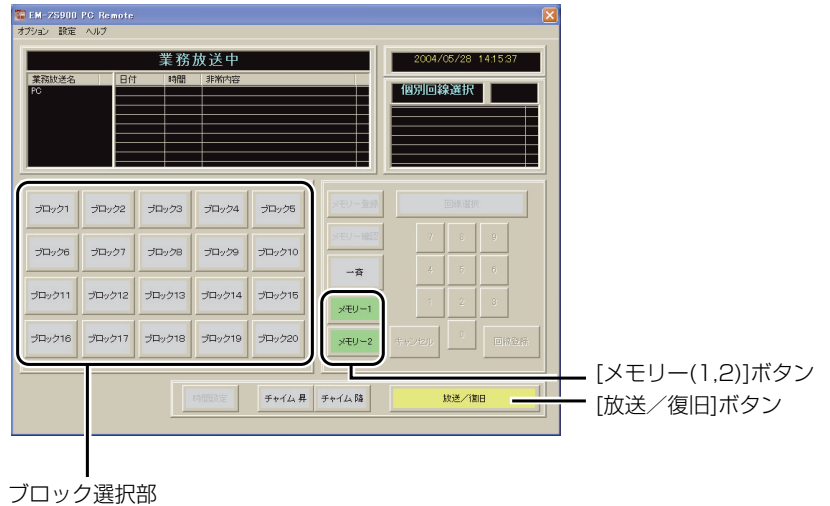
4 放送/復旧ボタンをクリックする

- 放送/復旧ボタンが消灯し、放送を終了します。

登録した回線に放送する（メモリー放送）

メモリー放送は、メモリーボタンひとつで放送したい回線を選べる放送方法です。メモリーボタンには、放送先の回線をあらかじめ登録しておく必要があります。

メモリーボタンへの回線登録方法：  39ページ



1 メモリー(1,2)ボタンをクリックする

- 放送したい回線を登録したメモリーボタンを選びます。
- メモリー1ボタンと、メモリー2ボタンは同時に選べます。



放送/復旧ボタンが点滅しているときは放送できません。



ブロック選択部ボタンで、放送中に放送先の回線を追加/削除できません。

2 放送/復旧ボタンをクリックする

- 放送/復旧ボタンが点滅から点灯へと変わります。

3 本体に接続されたマイクに向かって話す

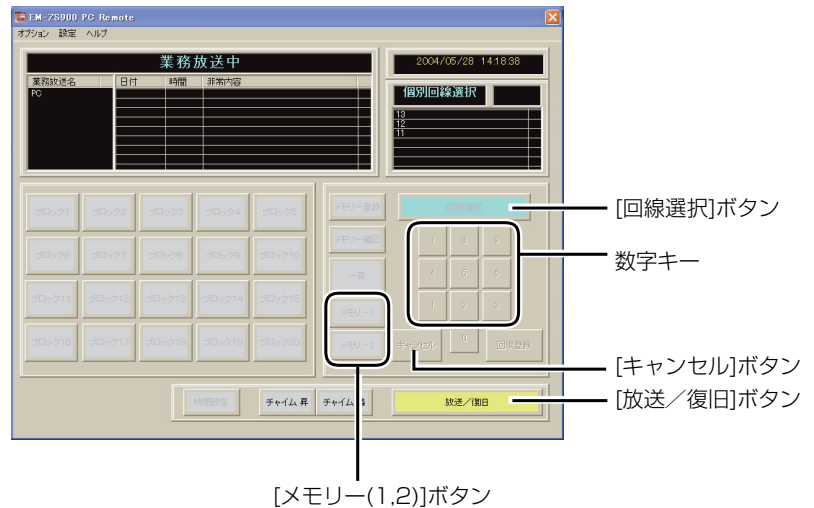
- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイム昇ボタン・チャイム降ボタンをクリックします。

4 放送/復旧ボタンをクリックする

- 放送/復旧ボタンが消灯し、放送を終了します。

選んだ回線に放送する

回線選択ボタンを使うと、放送したい回線だけを選んで放送することができます。



1 回線選択ボタンをクリックする

- 個別回線選択状態になります。



回線番号を変更するときは、キャンセルボタンをクリックします。

2 数字キーをクリックする

- 放送したい回線の番号を指定します。



複数の回線を登録するときは、手順2、手順3を繰り返します。

3 回線登録ボタンをクリックする

- 登録回線の番号が表示されます。

4 放送/復旧ボタンをクリックする

- 放送/復旧ボタンが点滅から点灯へと変わります。



放送中は、メモリー(1,2)ボタン、一斉ボタン、ブロック選択ボタンをクリックしても放送先の回線を追加することはできません。

5 本体に接続されたマイクに向かって話す

- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイム昇ボタン・降チャイムボタンをクリックします。

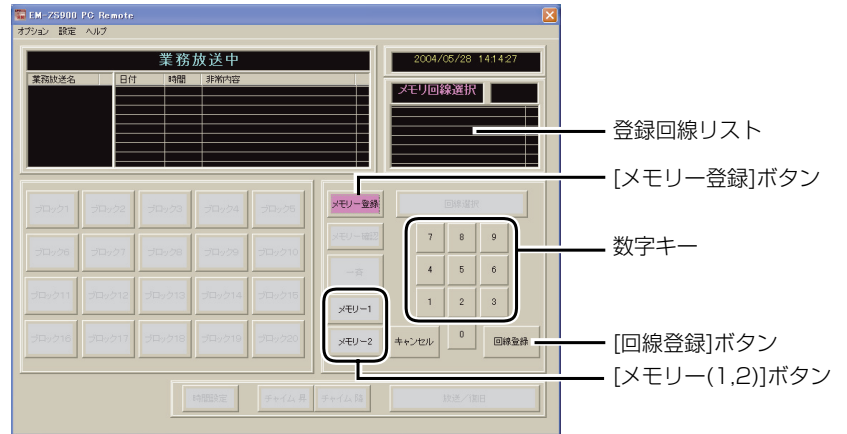
6 放送/復旧スイッチを押す

- 放送/復旧ボタンが消灯し、放送を終了します。

回線を登録する（メモリー登録）

メモリー(1,2)ボタンに放送したい回線を登録できます。

登録する



1 メモリー登録ボタンをクリックする

- メモリー登録ボタンが点灯し、メモリー登録状態になります。



登録した回線をキャンセルするときは、登録回線リストに表示されている回線を選び[キャンセル]ボタンをクリックします。

2 数字キーをクリックする

- 登録したい回線の番号を指定します。
※スピーカーの指定は、システムの最大回線までです。



複数の回線を登録するときは、手順2、手順3を繰り返します。

3 回線登録ボタンをクリックする

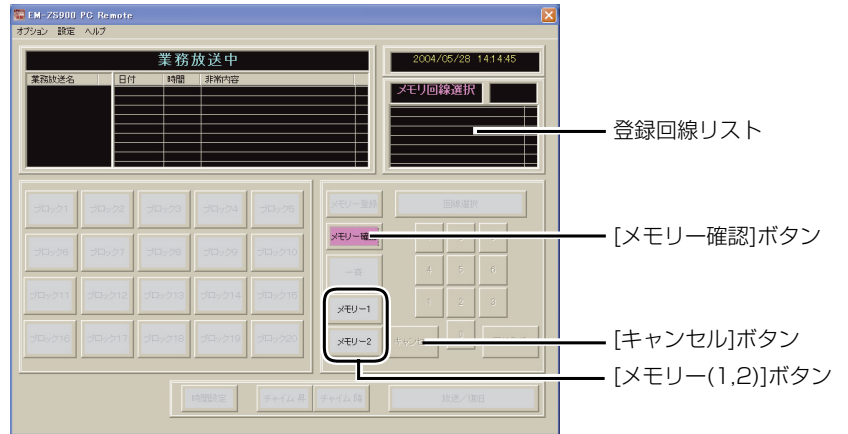
- 登録回線の番号が表示されます。

4 メモリー(1,2)ボタンをクリックする

- 回線を登録したいメモリーボタンをクリックします。

回線を登録する（メモリー登録）

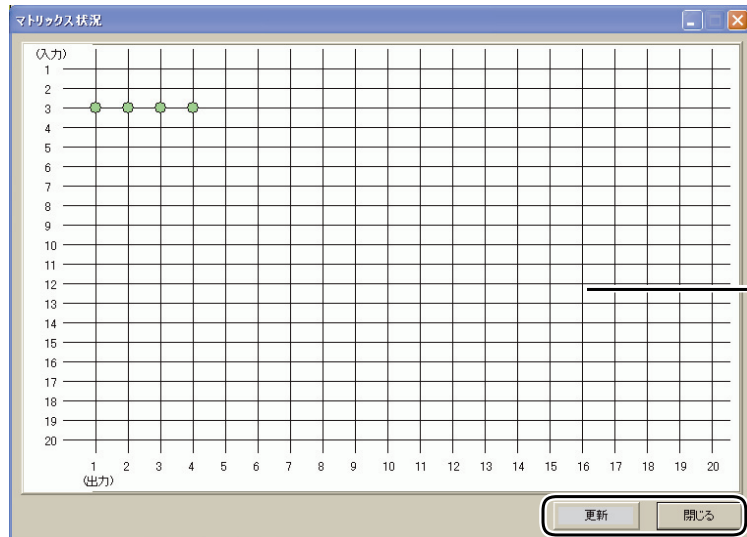
確認する



- 1 メモリー確認ボタンをクリックする
 - メモリ確認ボタンが点灯し、メモリー確認状態になります。
- 2 メモリー(1,2)ボタンをクリックする
 - 回線を登録したメモリーボタンをクリックします。
 - メモリーボタンが点灯します。
 - 登録回線リストに登録されている回線が表示されます。
- 3 メモリー確認ボタンをクリックする
 - メモリ確認ボタンが消灯します。

マトリックス状況画面

マトリックス状況画面を表示させるには、メニューの「オプション／マトリックス状況」を選択します。

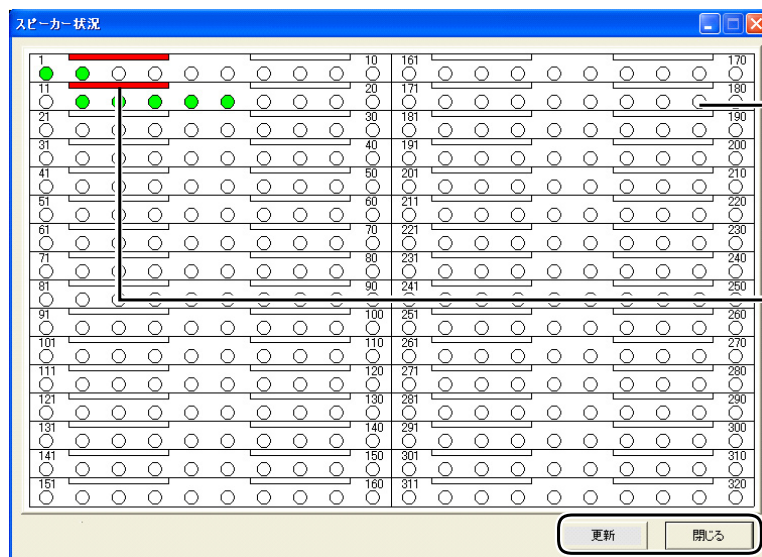


マトリックス表示部
出力しているポイントに
マーク（ON：緑、MIX：
青）が表示されます。

[更新]ボタン
クリックすると、本体と通
信を行ないマトリックス状
況を表示します。
[閉じる]ボタン
画面を閉じます。

スピーカー状況画面

スピーカー状況画面を表示させるには、メニューの「オプション／スピーカー状況」を選択します。



スピーカー出力表示部
出力しているポイントに緑
のマークが表示されます。

緊急リレー表示
緊急リレーがONしている
ときには、赤線が表示され
ます。5回線ごとに表示さ
れます。

[更新]ボタン
クリックすると、本体と通
信を行ないスピーカー状況
を表示します。
[閉じる]ボタン

起動入力/制御出力画面

起動入力/制御出力表示画面を表示させるには、メニューの「オプション／起動入力/制御出力」を選択します。



- ・ 起動入力は本体で設定してください。
- ・ 本体の優先順位設定によっては、EM-ZS900 PC Remoteでの放送が保留中になる場合があります。
- ・ [閉じる] ボタンをクリックすると、起動入力ボタン・制御出力ボタンのON/OFF状態を保持したまま画面を閉じますが、本体への送信は行なわれません。
- ・ EM-ZS900 PC Remoteから起動入力を擬似的にメークすることができますが、同一の起動入力についてEM-ZS900 PC Remoteから擬似的にメークすることと、起動入力端子にメーク信号を入れることはできません。同一の起動入力に2つの信号を入れないでください。
- ・ 制御出力は、マルチ業務リモコンとEM-ZS900 PC Remoteから動作させることができますが、同じ端子No.を同時に制御しないでください。

EM-ZS900 System Setup の高度な使い方

プログラムシートのエクスポート

EM-ZS900のエクスポート機能を使用すると、プログラムシートの設定を他のアプリケーションソフトウェアで編集することができます。

操作方法

- 1 エクスポートしたいプログラムシートを選ぶ
メニューの「プログラムシート」で選択します。
- 2 メニューの「出力／プログラムシート」を選択する
 - ファイル選択画面が表示されます。
 - (*.csv)ファイルを作成または選択します。

ヘッダ行について

最初に“#”が付いた行はヘッダ行になります。インポート時にはヘッダ行でファイルの確認を行うので編集しないでください。 また“\$”が付いた行はコメント行です。

<ヘッダー一覧>

すべて	#JVC IPA EM-ZS900 #Ver. X.X
放送階選択－回線No.	#FLOOR \$放送階選択－回線No.
放送階選択－同一階連動階	#SAMEFLOOR \$放送階選択－同一階連動階
業務ブロック－回線No.	#WORK-BLOCK \$業務ブロック－回線No.
BGMブロック－回線No.	#BGM-BLOCK \$BGMブロック－回線No.
マルチ業務リモコン－回線No.	<マルチ業務リモコン 1～8> #REMOTE-1 \$マルチ業務リモコン 1－回線No. <PC放送> #REMOTE-9 \$PC－回線No.
起動入力No.－回線No.	#STRATIN \$起動入力－回線No.

項目について

プログラムシートと同じ並びで出力されます。ただし起動入力-回線No.設定は“入力マトリックス”と“起動チャイム”を同時に出力します。

放送マークについて

プログラムシート上の 放送マーク“○” は半角小文字“o”（オー） で出力します。

同一階マーク、連動階マークについて

放送階選択－同一階連動階シートは 同一階マーク“●” を半角小文字“o”（オー）、連動階マーク“○” を半角小文字“x”（エックス）で出力します。

ラベルのエクスポート

EM-ZS900のエクスポート機能を使用すると、ラベルを他のアプリケーションソフトウェアで編集することができます。

操作方法

- 1** メニューの「出力／ラベル」を選択する
●ファイル選択画面が表示されます。
- 2** (*.csv)ファイルを作成または選択します。

エクスポート可能なラベルの種類

メニュー	対象機種	用途
放送階選択スイッチ	EM-E96/EM-C96/ EM-E12	放送階選択スイッチNo./EL No.の放送エリアが出力されます。
業務ブロックスイッチ	EM-E96/EM-C96/ EM-E12	業務ブロックスイッチNo.の放送エリアが出力されます。
BGMブロックスイッチ	EM-E96/EM-C96/ EM-E12	BGMスイッチNo.の放送エリアが出力されます。
マルチ業務リモコン	PA-C620	マルチ業務リモコンのブロックスイッチNo.の放送エリア、およびスピーカーエリアが出力されます。
スピーカー回線／ EL接続先	EM-L92	スピーカーエリア／自火報エリアが出力されます。
起動入力接続先	EM-Y92	起動入力No.の放送機器、接続機器、放送エリアが出力されます。

プログラムシートのインポート

EM-ZS900のインポート機能を使用すると、他のアプリケーションソフトウェアで編集したプログラムシートをEM-ZS900のプログラムシートへ展開することができます。

操作方法

- 1** インポートしたいプログラムシートを選ぶ
メニューの「プログラムシート」で選択します。
- 2** メニューの「入力／プログラムシート」を選択する
 - ファイル選択画面が表示されます。
 - (*.csv)ファイルを選択します。



- ・編集はEM-ZS900でエクスポートしたファイルを元に行なってください。
- ・インポート後は選択されているプログラムシートが新規に作成されます。インポート前の情報は残らないので注意してください。
- ・インポートしたプログラムシートに共通の項目があれば他のプログラムシートにも反映されます。（スピーカーエリア、出火階情報、マトリックス出力など）

プログラムシートのインポート (つづき)

インポート時のフォーマットチェックについて

インポートはフォーマットチェックを行ない内部的にエラーになった場合、エラー表示あるいは初期値へ変換を行ないます。エラー表示を行なった場合は読み込みを中断し、設定は反映されません。

<フォーマットチェックの内容>

項目名	チェック内容
ヘッダ行	照合チェック
項目	●項目の位置チェック●項目数チェック
放送エリア	●全角14文字までインポート
出火階情報	●数値のみインポート●範囲チェック [0～499] ●空白の場合は初期値 [0] ※出火階情報はその時に持っている出火階文字列情報を付加する。
出力スイッチNo.	●なし
放送階選択 スイッチNo.	●1から連番になっていることをチェック●範囲チェック [1～320]
業務ブロック スイッチNo.	●1から連番になっていることをチェック●範囲チェック [1～320]
BGMブロック スイッチNo.	●1から連番になっていることをチェック●範囲チェック [1～320]
ブロック スイッチNo.	●1から20の連番になっていることをチェック●範囲チェック [1～20]
起動入力No.	●1から45の連番になっていることをチェック●範囲チェック [1～45]
マトリックス入力	●範囲チェック [2～20] ●空白の場合は初期値 [2] ※マルチ業務リモコンの場合は全て同じ値でなければならない。
接続機器名	●全角14文字までインポート
起動チャイム	●“o”のみインポート
放送機器名	●“業務用”、“報時チャイム”、“アサノエ”、“音声ファイル”、“電話へ-ジック”、“BGM”のチェック
音声ファイルNo.	●範囲チェック [1～45] ●空白の場合は初期値 [1]
音声ファイル 再生モード	●“繰り返し”、“1回のみ”のチェック●空白の場合は初期値 [繰り返し]
緊急指定	●“o”のみインポート
スピーカーエリア	●全角7文字までインポート
マトリックス出力	●範囲チェック [1～20] ●空白の場合は初期値 [1] ※5回線毎に同じ値でなければならない。
スピーカー回線	●1から連番になっていることをチェック●範囲チェック [1～320]
放送マーク	●“o”のみインポート
同一階マーク	●“o”のみインポート ※同一階マークは行方向、列方向のスイッチ設定が同じになっていなければならない。 例>スイッチ1に2、3を設定した場合 スイッチ2は1,3に設定/スイッチ3は1,2を設定 ※スイッチ番号 250 までしか読み込みません。
連動階マーク	●“x”のみインポート

お客様ご相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社
プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7203